

十八史略譯解

特31
732

共
冊

大日本教育會館			
室	第		
一	五		二
二	四	五	九
冊	號	架	函

東
行

003214-003-0

特31-732

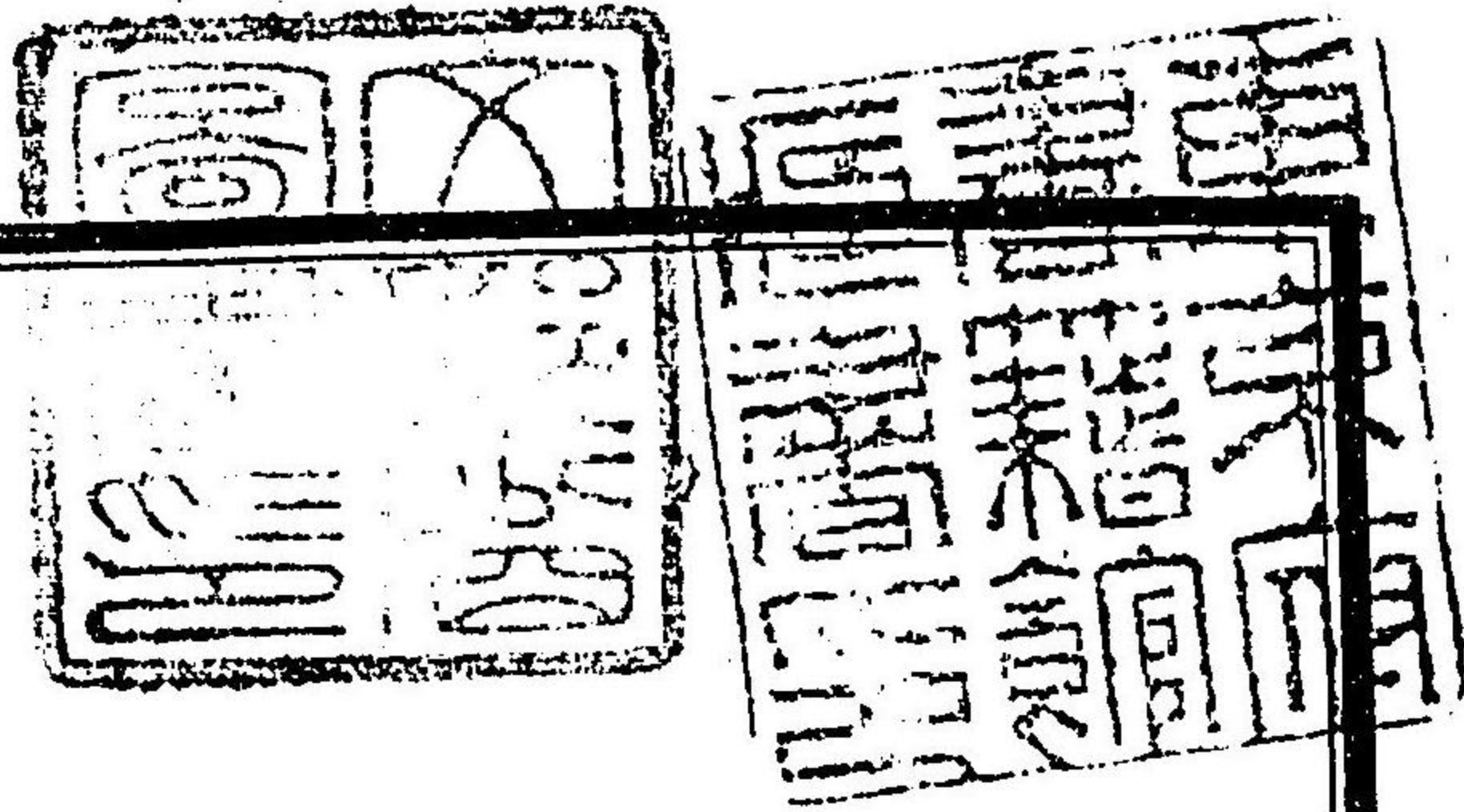
十八史略譯解

沖 正修/編

M7

ACC-1468





高皇帝諡法
高、最、高、劉、季、漢
功、最、高、劉、季、漢
帝、最、高、劉、季、漢
故、最、高、劉、季、漢
起、最、高、劉、季、漢

冲冠嶺著十八史畧譯解卷之三

東京 冠嶺冲正修編輯

太祖高皇帝堯ノ後、姓ハ劉氏、名ハ邦、字

○西漢項羽、劉季ヲ巴蜀漢中ニ封
怒テ之ヲ攻トナシ、欲ス、蕭何、諫
ク、語ト、天ニ漢ト日フ、其ノ就テ、項羽ヲ美
ナリト、是ニ於テ、國ニ就テ、遂ニ始
滅ノ、天ノ下ヲ有ツ、及、漢ト日
封、方、長、安ニ都ス、故ニ西漢ト日
正、ノ、方、長、安ニ都ス、故ニ西漢ト日
フ、天ノ下ヲ有ツ、及、漢ト日
十、三、州ト為ス

西漢 高帝

媪 女老ノ稱隆
 準 隆ハ高準ハ
 鼻 ナリ鬚髯願
 ニアルヲ鬚髯願
 曰フ頰ニアル
 如髯ト曰フ露
 如開大ノ良

李沛ノ豊邑中陽里ノ人ナリ劉氏
 堯ヨリ出ツ帝堯ノ孫生レテ文帝
 在ルアリ劉累ト曰フ夏ニ事ヘテ御龍
 ナス能ク龍ヲ御ス夏ニ事ヘテ御龍
 氏トナル商ニ在テ豕韋氏トナル周
 子ヲ温封セラレテ杜伯トナル杜ノ
 ル士ヲ爲生ハ秦ニ適キ伯缺ヲ生ム缺
 士會ヲ生ム自ラ劉氏トナル陽明子
 リ秦ニ留ル速陽氏トナル陽明子
 ム明遠ヲ生ム速陽氏トナル陽明子
 ノ孫馮魏ニ仕テ大夫トナル秦魏
 減シテ梁ニ徙ル清生ム清徙テ沛
 フ居ル仁号ヲ生ム仁号ヲ生ム清徙
 生ハ端高帝ヲ生ム仁号ヲ生ム清徙
 雨ノ晦冥ナリ父太公往ク交龍ヲ其
 上ニ見ル已テニノ劉季ヲ産ム隆

亭長秦制十里
 長ヲ置キ盜賊
 フ替スヲ主ト
 ル縦觀縦ハ放
 ナリ當時車駕
 出レハ則ナ觀
 ル者ヲ禁ス此
 ノ時氏ヲ縦ノ
 觀セシム而ノ
 之ヲ觀ル

準ニノ龍顏ナリ美鬚髯アリ左ノ股
 ニ七十二ノ髹子アリ寛仁ノ人ヲ愛
 ス意豁如ナリ大度アリ家人ノ生産
 ラ事トセス壯ナルニ及テ泗上ノ亭
 ノ長ト爲ル嘗テ咸陽ニ徭役ノ秦皇
 帝ヲ縦觀ス曰ク嗟乎大丈夫ハ當リ
 ニ此ノ如クナルヘシト單父ノ人軍
 二縣單州呂公魏ノ人名ハ好テ人ヲ相
 相ル多シ季カ相ノ如キハナシ願ク
 ス劉季ノ状貌ヲ見テ曰ク吾レ人ヲ
 ハ季自ラ愛セヨ吾ニ息女アリ願ノ

〔厭〕厭ナリ

〔竹皮〕笋皮ナリ、
笋上鮮ク所ノ
穉ヲ謂フナリ

〔徒〕徒ヲ驪山云々

始皇、驪山ニ葬

ハル故ニ郡國

徒ヲ送ル徒

罪ヲ役作ニ供

スルナリ

酒ヲ被ル猶フ

酒ヲ帶ルト言

カコトシト言

ハ箕帚ノ妾トナサント、卒ニ劉季ニ

與フ、即チ呂后ナリ、秦ノ始皇嘗テ曰

ク、東南ニ天子ノ氣アリト、是ニ於テ

東遊メ以テ之ヲ厭當ス、劉季、芒碭山

澤ノ間ニ隱ル〔芒碭〕ニ山、今ノ歸德呂

氏、入ト俱ニ求ム、常ニ之ヲ得タリ、劉

季、怪テ之ヲ問フ、呂氏曰ク、季、力居ル

所ノ上ニ、雲氣アリ、故ニ從ヒ往テ常

ニ季ヲ得ルト言ハ、雲氣ノ在ル所劉

季喜フ、沛中ノ子弟、之ヲ聞テ附ント

欲スル者、多シ、亭ノ長タル時、竹皮ヲ

劉季白蛇ヲ斬ル音



以テ冠トナス、貴ニ及テ、常ニ冠ス、謂

ユル、劉氏冠ナリ、劉季、亭ノ長ナルヲ

以テ、縣ノ為メニ、徒ヲ驪山ニ送ル、徒

多ク道ヨリ亡ク、能ラ度ラク、至ルニ

比テ、盡ク之ヲ亡ント、豊西ニ到リ、止

テ飲ス〔豊西〕邑、鄆縣、杜陵夜乃チ送ル

所ノ徒ヲ解〔解〕縦〔縦〕ノ曰ク、公等皆ナ去レ、

吾モ亦此ヨリ逃ント、徒中ノ壯士、徒

ハント願フ者十餘人、季、酒ヲ被リ、夜

澤中ヲ徑ス、大蛇アリ、徑ニ當レリ、季

劍ヲ拔テ、之ヲ斬ル、後人來テ、蛇ノ所

〔白帝ノ子〕秦西
ニ居ル行ニ於
六金ニ屬ス云
色ハ白故ニ云
ス白帝ノ子ト
劉ハ堯ノ後堯
ハ火徳ノ故ニ稱
ノ赤帝ノ子ト
曰フ

〔皆ナ赤クス〕赤
帝ノ子ノ兆ニ
應ス
〔苛法〕苛ハ細草
ナリ以テ煩雜
ニ喻フ

ニ至ル、老哭ノ曰ク、吾カ子ハ
白帝ノ子ナリ、今ハ赤帝ノ子、之ヲ斬
ルト、曰テ忽デ見ヘス、後人、劉季ニ告
ク、劉季、心ニ獨喜ンテ、自負ス、諸ノ從
フ者、日ニ益之ヲ畏ル、陳勝起トキ、劉
季モ亦兵ヲ沛ニ起シ、以テ諸侯ニ應
ス、旗幟ハ皆ナ赤クス、楚ノ懷王、沛公
ヲ遣ス、秦ヲ破リ、関ニ入ル、秦王子嬰
ヲ降ス、既ニ秦ヲ定メ、還テ霸上ニ軍
ス、悉ク諸縣ノ父老豪傑ヲ召シ、謂テ
曰ク、父老秦ノ苛法ニ苦ムト久シ、吾

〔三章〕三條ナリ
罪ニ抵ス、輕ナリ
ニ隨テ、法ヲ制
スルナリ、人ヲ
傷ツクニ、曲直
アリ、盜賊ニ多
少アリ、罪名預
メ定ム可ラス、
故ニ凡テ罪ニ
抵スト云ス、未
タ何ノ罪ニ抵
スラ知ラサル

レ諸侯ト約セリ、先ツ関中ニ入ラシ
者、之ニ王タラント、吾レ當サニ関中
ニ王タルベシ、父老ト約ス、法三章ノ
ミ、人ヲ殺ス者ハ、死ナン、人ヲ傷ク、及
ヒ盜スル者ハ、罪ニ抵サン、餘ハ悉ク
秦ノ苛法ヲ除キ去ント、秦ノ民大ニ
喜ブ、項羽、諸侯ノ兵ヲ率テ、西ノ方関
ニ入ラント欲ス、或人沛公ニ説テ、関
門ヲ守ラシム、羽至ル、門閉タリ、大ニ怒
テ、之ヲ攻メ破リ、進テ戲ニ至ル、戲水
渭南縣、驪山馮公谷ノ東ニ出テ、旦ニ
北流ノ戲亭ヲ經テ、渭ニ入ル

〔季父〕九ツ伯父ノ兄弟、其ノ伯仲ノ呼フ、餘ハ皆ナシ、李父ト稱ス秋毫、毫、秋ニ至テ秋毫、銳ナリ、秋毫ハ其ノ細微ヲ言フナリ

沛公ヲ撃ントス、羽カ兵四十万、百万ト号ス、鴻門ニアリ〔鴻門〕地、新豊沛公ノ東ニアリ、兵十萬、二十萬ト号シ、霸上ニアリ、范增羽ニ説テ曰ク、沛公、山東ニ居シトキ、財ヲ貪リ、色ヲ好メリ、今マ関ニ入テ、財物取ル所ナク、婦女幸スル所ナシ、此レ其ノ志小ニ在ラス、吾レ人ヲメ其ノ氣ヲ望シムルニ、皆ナ龍ト為テ、五彩ヲ成ス、此レ天子ノ氣ガリ急ニ撃テ、失フナカレト、羽カ季父項伯一名ハ、纏、字ハ伯陵、素ヨリ、張良ニ善一説ニ、字ハ伯陵、素ヨリ、張良ニ善

〔要〕邀ニ同シ、〔危〕飲酒ヲ以テ器作ル、四升ヲ以テ受

シ、夜馳テ沛公ノ軍ニ至テ、良ニ告ケ呼テ、與ニ俱ニ去ント、良カ曰ク、臣沛公ニ從テ、急アツテセラルハ、不義ナリト、入テ具サニ告ク、曰テ伯ヲ要シ、入テ沛公ニ見ヘシム、沛公危酒ヲ奉メ、壽ヲナス、約メ婚姻ヲナス、曰ク、吾レ関ニ入り、秋毫モ敢テ近ツク所アラズ、吏民ヲ籍メ、府庫ヲ封シ、而メ將軍ヲ待ツ、関ヲ守ルユヘンノ者ハ、他ノ盗ニ備ルナリ、願クハ伯、具サニ臣カ敢テ徳ニ背カザルヲ言フセト、伯、許

隙門隙ヲ謂ハサフ
乘離ノ言フ

羽ヲ目ス目ヲ
動リ之ヲ論ス
ナリ、環ノ珎玉佩
ナリ、環ノ珎玉佩
増、擧テ以テ羽
ニ示スハ、蓋シ
其ノ意ヲ決メ、
沛公ヲ殺シ、
ト欲スルナリ

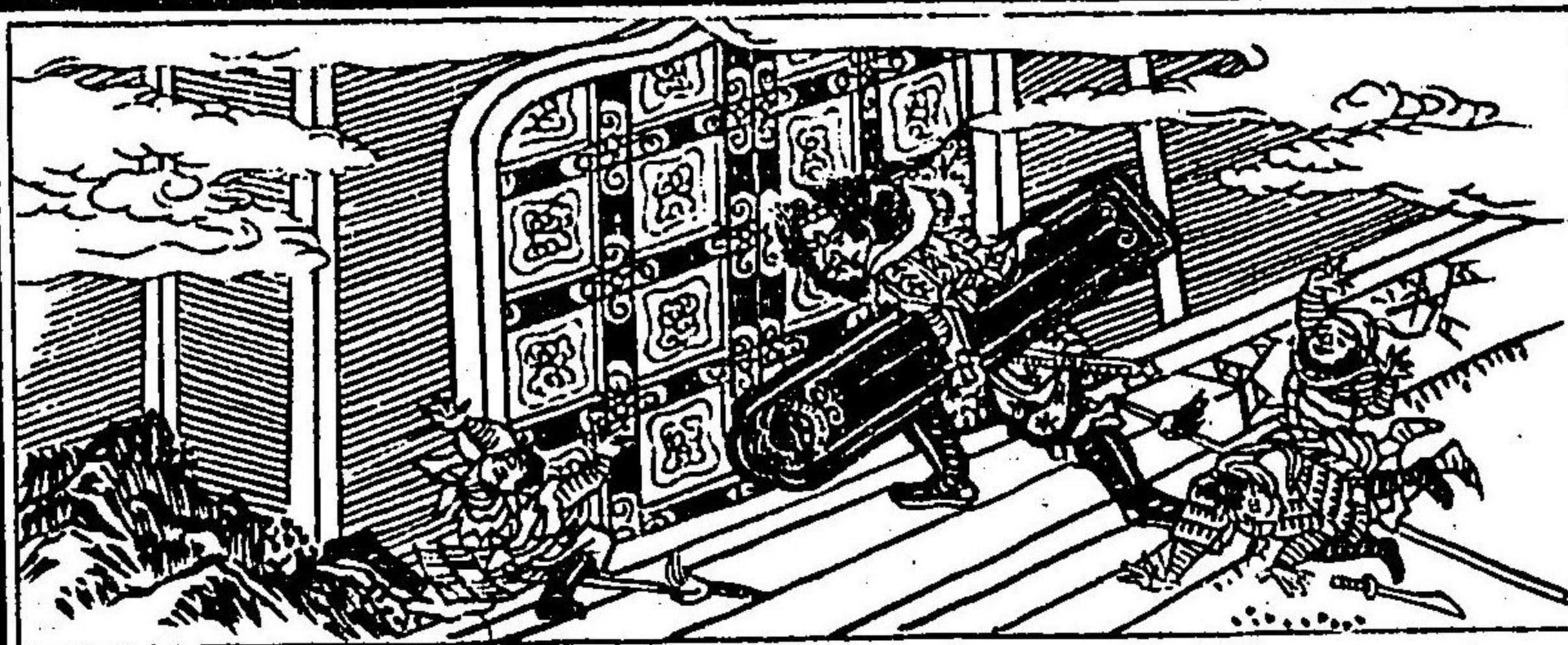
諾ノ曰ク、項伯早ク自ラ来リ謝セズ
ンハアル可ラスト、伯去テ具サニ以
テ羽ニ告久且ツ曰久人、大功アリ、之
ヲ撃ハ、不義ナリ、如シカス、曰テ善ク之
ヲ遇センニハト、沛公旦ニ百餘騎ヲ
従ヘテ、羽ヲ鴻門ニ見ル、謝ノ曰久臣、
將軍トカヲ戮セテ、秦ヲ攻ム、將軍ハ
河北ニ戦ヒ、臣ハ河南ニ戦フ、能ラ意
ハザリキ先ツ関ニ入テ、秦ヲ破リ、復
夕將軍ヲ此ニ見ントハ、今ハ小人ノ
言アツテ、將軍ト臣トヲノ隙アラシ

沛公項羽ヲ鴻門ニ見ル圖



ト、羽ノ曰ク、此レ沛公カ左司馬曹
無傷ノ言ナリト曹姓、無傷名、曹無傷
シト欲スルヲ聞テ、人ヲ怒テ、沛公ヲ攻
シ、寶盡クテ曰ク、沛公、関中ニ王トナリ、珍
ク、寶盡クテ曰ク、沛公、関中ニ王トナリ、珍
ス、范増、数羽ニ狙ヒ、沛公ヲ撃タシム、
佩ル所ノ玉珎ヲ擧クル者三クヒ、羽
應セス、増出テ項莊ヲ入ラシム、項
従弟カ前ニテ壽ヲナシ、劍ヲ以テ舞ハ
ンヲ請フ、曰テ沛公ヲ撃ントス、項伯
モ亦劍ヲ拔キ、起テ舞ス、常ニ身ヲ以
テ、沛公ヲ翼蔽ス、莊、撃ヲ得ス、張良、出

樊噲盾ヲ擁メ直ニ入ル



テ、樊噲ニ告ルニ、事ノ急ヲ以テス、
 噲盾ヲ擁シ直ニ入ル。噲即チ劍ヲ帶
 門ニ入ル。交戟ノ衛士止メテ納レサ
 テ衛士ヲ撞目ヲ瞋シテ、羽ヲ視ル。頭
 キ地ニ仆ス。目ヲ瞋シテ、羽ヲ視ル。頭
 髪上リ指サズ。珥指盡ク裂ク。羽ノ曰ク、
 壯士ナリ、之ニ危酒ヲ賜ヘト、則チ斗
 卮酒ヲ與ヘ之ニ彘肩ヲ賜ス、則チ牲
 彘肩ナリ、噲立飲シ、劍ヲ抜キ肉ヲ切
 テ、之ヲ啗フ。羽ノ曰ク、能ク復タ飲ム
 カト。噲カ曰ク、臣死スガモ、且ツ避ケ
 ス、危酒安シヤ。辞スルニ足ラン、沛公

細人ノ猶ヲ小人
 ト言フカコト
 シ、曹無傷ヲ指
 ス、
 卮酒ヲ挹ムニ
 ヘシ、盃杓ニ勝
 ヘサルハ、酒力
 ニ堪ヘサルヲ
 言フ

先ツ秦ヲ破テ、咸陽ニ入り、勞苦ノ功
 ノ高キ此ノ如シ、未タ封爵ノ賞アラ
 ス、而ルニ將軍細人ノ説ヲ聽テ有功
 ノ人ヲ誅セント欲ス、此レ亡秦ノ續
 ノミ、竊ニ將軍ノ為メニ取ラザルナ
 リト、羽ノ曰ク、坐セヨト、噲良ニ從テ
 坐ス、須臾ニ沛公起テ廁ニ如ク、曰
 テ噲ヲ招テ、出テ間行ノ霸上ニ趨ル
 良ヲ留テ、羽ニ謝セシメテ曰ク、沛公
 盃杓ニ勝ヘズ、辞スル能ハズ、臣良ヲ
 ノ、白璧一雙ヲ奉セシム、再拜ノ將軍

命ヲ致ス致ハ
猶ヲ復ノコト
キヲリ、羽、將
ニ以テ、關中ニ
王タルヲ求メ
ソトス、故ニ先
ツ復命ス約ハ
如クセヨ言ハ
前約ノ如ク沛
公ヲ關中ニ沛
クヲシノニト
ナリ、功、功、
積ヲ、伐、日、
フ

ヲ聞テ韓生ヲ烹ル羽、人ヲメ命ヲ懷
王ニ致サシム、王ノ曰久、約ノ如クセ
ヨト羽、怒テ曰久、懷王ハ吾カ家ノ立
ル所ノミ、功伐アルニ非ス、何ソ約ヲ
專主スルヲ得ント、乃チ獨尊ノ義帝
トナスヲ義ト戴ス所江南ニ徙シ、郴
ニ都セシム、〔郴〕州、湖南天下ヲ分テ諸
將ヲ王トス、羽、自立メ西楚ノ霸王ト
為ル、舊ト江陵ヲ名ツケテ南楚ト為
スト、為乃チ約ニ背テ曰久、巴蜀モ亦
中ノ地ナリト、〔巴〕郡ハ、今ノ順元等ノ

陽尊陽ハ外ナ
リ、蓋シ羽、懷
ヲ外尊メ、義
ト為シテ、内實
ハ、其号令ヲ奉
セ、ス、一、本、
作ル

四川等ノ興元府ナリ、漢中郡ハ陝西ニ
屬ス、今ノ興元府ナリ、漢王初ノ封セ
ラレテ、此沛公ヲ立テ、漢王トナス、
巴蜀漢中ニ王タリ、而ソ關中ヲ三分
ノ秦ノ降將三人ヲ王トス、〔三人〕、章邯、塞王
司馬欣、翟王董翳、項羽、關中ノ地ヲ三
分ソ之ニ王トス、是ヲ三秦ト謂フ、
以テ漢ノ路ヲ距塞ス、漢王、怒テ羽ヲ
攻メト欲ス、蕭何、諫テ曰久、願クハ大
王漢中ニ王トメ、其ノ民ヲ養ヒ、以テ
賢人ヲ致シ、巴蜀ヲ收用シ、還テ三秦
ヲ定メ、天下ハ圖ル可キナリト、王
乃チ國ニ就キ、何ヲ以テ丞相ト為ス、

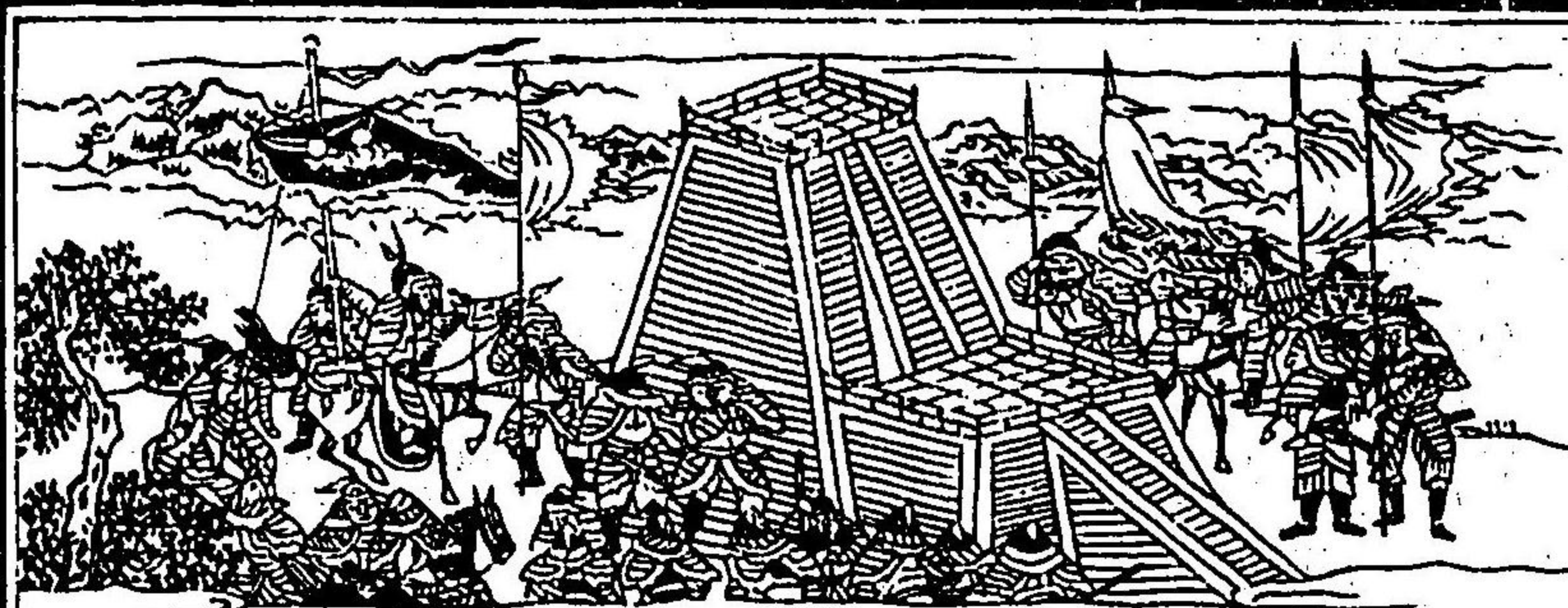
五星木火土金
水ナリ井ハ經
星秦ノ分雍州
ノ城ニ直ル時
ニ五星其ノ次
ニ聚ルハ乃チ
沛公興王ノ兆
ナリ
漂水ヲ以テ繫
ラ撃テ漂ト曰
フ王孫公子ト
言フカ如キナ
ルナリ尊赫ス
屠中屠ノ肆中
衆辱衆中ニ之
ヲ辱ムルナリ
勝讀テ跨ノ如
リ兩股ノ間ナ
行ノ蒲伏手足並

○漢ノ元年、五星、東井ニ聚ル。○初、
淮陰ノ韓信、淮陰ニ屬ス。淮家貧、城下ニ
釣ス、漂母アリ、信カ饑ヲ見テ、信ニ飯
セシム、信カ曰ク、吾レ必ス厚ク母ニ
報セント、母怒テ曰ク、大丈夫、自ラ食
スル能ハス、吾レ王孫ヲ哀テ、食ヲ進
ム、豈ニ報ヲ望マンヤト、淮陰ノ屠中
ノ少年、信ヲ侮ル者アリ、曰テ之ヲ衆
辱ス、曰ク、若チ長大ニシ、好テ劍ヲ帶
ト雖、中情ハ怯ノミ、能ク死セハ我
ヲ刺セ、能ハスンバ、我カ胯下ニ出ヨ

韓信胯下ヲ出ル



ト、信之ヲ黷視シ、俯シ、胯下ヨリ出テ
、蒲欲ス、一市人皆ナ信カ怯ヲ笑フ
項梁、淮ヲ渡ル〔淮〕水、唐州、桐柏縣、桐柏
山ニ出ツ、東流ノ強水、
肥水、泗水ニ合、信、之ニ従フ、又教策ヲ
以テ項羽ヲ干ス、用ラレス、亡テ漢ニ
歸ス、治粟都尉ト為ル〔治粟都尉〕官、藏
穀ヲ治ルヲ掌
ト、即チ司教蕭何ト語ル、何之ヲ奇
トス、王南鄭ニ至ル〔南鄭〕郡ノ名、將士
即チ漢中
皆ナ謳歌メ、歸ヲ思ヒ、多ク道ヨリ亡
ク、信、度ルニ何カ已テニ數言スレ、王
我ヲ用スト、即チ去ル、何、自ラ之ヲ



追ス入ノ曰ク丞相何亡クト、王怒ル、
 左右ノ手ヲ失フカ如シ、何来謁ス、王
 且ツ怒リ、且ツ罵テ曰ク、若チ亡ル何
 ノヤト、何カ曰ク、韓信ヲ追フト、王ノ
 曰ク、諸將ノ亡ル、十ヲ以テ数ス、公追
 フ所ナシ、信ヲ追フトハ、詐ナラント、
 何カ曰ク、諸將ハ得ヤスキノミ、信ハ
 國士無雙ナリ、王必ス長ク漢中ニ王
 タラント欲セハ、信ヲ事トスル所ナ
 シ、必ス天下ヲ争ハント欲セハ、信ニ
 非スンハ、與ニ事ヲ計ル可キ者ナシ

壇場（壇場）土ヲ築ク
 ヲ、壇ト為ス、地
 ヲ除テ、場ト為
 ス

ト、王ノ曰ク、吾モ亦東セント欲スル
 ノミ、安能ク（安能ク）鬱（鬱）々トノ久ク此ニ居ラ
 ンヤト、何カ曰ク、必ス東センヲ計ラ
 ハ、能ク信ヲ用ヨ、信即チ留ラン、然ラ
 ズンハ、信終ニ亡ケンノミト、王ノ曰
 ク、吾レ公ノ為ノニ以テ將ト為サン
 ト、何カ曰ク、留ラザルナリ、王ノ曰ク、
 以テ大將ト為サント、何カ曰ク、幸甚
 ナリ、王、素ヨリ慢ニシ、大將ヲ
 拜スル、小兒ヲ呼カ如シ、此レ信カ去
 ヲヘンナリト、乃チ壇場ヲ設ケ、礼ヲ

一軍猶ヲ舉軍
ト言フカコト
キナリ部署分
ノ職ヲ置シ各ヲ

具フ、諸將皆ナ喜フ、人々各自ヲ以テ為
ラク大将ヲ得ント、拜スルニ至テ、乃
チ韓信ナリ、一軍皆ナ驚ク、王、遂ニ信
カ計ヲ用ヒ、諸將ヲ部署シ、蕭何ヲ留
テ、巴蜀ノ租ヲ收メ、軍ノ糧食ヲ給セ
シ、信、兵ヲ引テ故道ヨリ出テ、雍王
章邯ヲ襲フ、故道（道）縣武邯敗死ス、塞王
司馬欣（塞）今古、都屬、長安ノ東ニアリ、
關ニ至ル、皆翟王董翳（翟）今亦、陝西、延
ナ安府、是皆ナ降ス。○漢ノ二年、項籍、義
帝ヲ江中ニ弒ス。○初ノ陽武ノ人、
武陽

里中ノ社ニ平
宰タリ云々ニ
十五家ハ、危宰
ナス、肉ヲ主ル、
スリ、肉ヲ主ル、
ヨリ、以テ、民ニ
テ、五家以上、始
得ル、謂フ、里中
社ト、謂フ、年穀
ノ、設、災、禱、後
祈、黨、閭、禱、後
ト、平、陳、平、子
父、老、陳、平、子
少、ヲ、以、テ、平、子
ト、稱、ス、一、陳、平
字、孺、子、ハ、陳、平

縣、亦、梁、陳、平、家貧ノ書ヲ讀テ好ム、里
ニ、屬、ス、平、宰、ク、リ、肉ヲ分ツ、甚、タ、均
中ノ社ニ、平、宰、ク、リ、肉ヲ分ツ、甚、タ、均
シ、父老ノ曰ク、善シ陳孺子ノ宰タル
ト、平カ曰ク、嗟乎、平ヲメ、天下ニ宰タ
ルヲ得セシメ、ハ、亦、此ノ肉ノ如ケシ
ト、言ハ、得セシメ、ハ、天下ノ事ヲ宰制スル
ケ、カ、初、ノ、魏、王、咎、ニ、事、フ、用、ラ、レ、ズ、
去、テ、項、羽、ニ、事、ス、罪、ヲ、得、テ、亡、ク、魏、無
知、ニ、曰、テ、漢、王、ニ、見、エ、ン、ヲ、求、ム、拜、メ
都尉、參、乘、典、護、軍、ト、為、ス、（典）、（護）、（軍）
勃、王、ニ、言、テ、曰、ク、平、美、ト、雖、モ、冠、王、ノ

冠王冠ニ飾ス
レハ則テ外見
美ナリ而氏中
ニハ有ルナシ
平カ才アリト
雖モ徳ナキニ
喻

如シ、其中未タ必スシモ有ラサルナ
リ、臣、聞ク、平、家ニ居テ、其嫂ヲ盗ム、魏
ニ事テ容ラレズ、亡ケテ楚ニ帰ス、又
容ラレズ、亡ケテ漢ニ帰ス、今マ大王、
軍ヲ護セシムルニ、諸將ノ金ヲ受ク、
願クハ王之ヲ察セヨト、王、魏無知ヲ
讓ム、無知ガ曰ク、臣カ言フ所ノ者ハ
能ナリ、大王ノ問フ所ノ者ハ行ナリ、
今マ尾生、孝巳ノ行アリトモ、尾生、女
下ニ期ス、女子来ラス、水至ル、去ラズ、
梁柱ヲ抱テ死ス、或人云フ、微生高ナ
行アリ、親ニ事テ、一夜ニ五起ス、母早

教智教術教ヲ
謂フナリ

ノ感テ、高宗、後妻ノ言ニ而レ成敗
ノ教ニ益ナクンハ、大王、何ノ暇アツ
テ、之ヲ用ヒンヤト、王、平ヲ護軍中尉
ニ拜シ、盡ク諸將ヲ護セシム、諸將乃
チ敢テ復タ言ハズ、○漢王、洛陽ニ至
ル、新城ノ三老董公、新城郷ノ名三老、
化ニ三老アリ、教道ヲ遮リ、説テ曰ク、徳
ニ順フ者ハ昌フ、徳ニ逆フ者ハ亡フ、
兵出ルニ名ナシ、事故ニ成ラス、其賊
タルヲ明サハ、敵乃チ服ス可シ、項羽
無道ニノ其ノ主ヲ放弑ス、天下ノ賊

項羽漢ノ軍ヲ睢水ノ上ニ破ル番



ナリ、夫レ仁ハ、勇ヲ以テセズ、義ハ、力ヲ以テセズ、大王、宜シク三軍ノ衆ヲ率テ、之ガ為メニ素服シ、以テ諸侯ニ告テ、之ヲ伐ツ可シト、是ニ於テ、漢王義帝ノ為メニ、喪ヲ發シ、諸侯ニ告テ曰ク、天下、共ニ義帝ヲ立ツ、今マ項羽之ヲ放弒ス、寡人悉ク関中ノ兵ヲ發シ、三河ノ士ヲ收メ、河東、河内、南ノ方、江漢ニ浮テ、而ノ下リ、願クハ諸ノ侯王ニ從テ、楚ノ義帝ヲ弒セル者ヲ擊シト、漢王、五諸侯ノ兵ヲ率テ、彭城ニ入リ、都彭城郡、河南ニ屬ス、項羽ノ其ノ寶貨、美人ヲ收メ、置酒ノ高會ス、項羽、齊ヲ伐ツニ方ツテ、之ヲ聞キ、自ラ精兵三万ヲ以テ還リ、漢ヲ擊シ、大ニ漢ノ軍ヲ睢水ノ上ニ破ル、陳留縣ニ出ツ、東雍丘ヲ經テ、應天死スル者二十万人、水ノ力為メニ流レス、漢王ヲ圍ヒ、三、廼、會大風西北ヨリ起リ、木ヲ折リ、屋ヲ發ク、沙石ヲ揚テ、晝晦シ、王、乃

高會大會

王申陽、韓王鄭昌、魏王豹、殷王卯、一説ニ、張耳此ノ時兵ナシ蓋シ、陳餘ナラト、五十六万ヲ率ヒ、楚ヲ伐テ、彭城ニ入リ、都彭城郡、河南ニ屬ス、項羽ノ其ノ寶貨、美人ヲ收メ、置酒ノ高會ス、項羽、齊ヲ伐ツニ方ツテ、之ヲ聞キ、自ラ精兵三万ヲ以テ還リ、漢ヲ擊シ、大ニ漢ノ軍ヲ睢水ノ上ニ破ル、陳留縣ニ出ツ、東雍丘ヲ經テ、應天死スル者二十万人、水ノ力為メニ流レス、漢王ヲ圍ヒ、三、廼、會大風西北ヨリ起リ、木ヲ折リ、屋ヲ發ク、沙石ヲ揚テ、晝晦シ、王、乃

轉漕車轉船漕
以テ軍糧ヲ
給スルナリ
兵ヲ調ス
死ヲ補フナ
リ

口尚ヲ乳臭言
ハ其ノ少ニ
事ヲ任セサ
ル、未ク乳保
ノ懐ヲ離サ
者ノ若シ不
木柙ヲ以テ
ヲ縛ノ、以テ
ル、罽、ハ、瓶
腹小、口、瓶
ナリ、楊、慎、
木罽、瓶、軍
漢ス者、罽、
十ヲ取テ、木
以テ之ヲ縛
水ニ浮ヘ、以
軍吏速ニ用
成シ、器ヲ成
ヲ取ルナリ

チ數十騎ト遁ル、ヲ得タリ、審食其
名ノ太公ト呂氏トニ從テ間行ス、楚
ノ軍ニ遇ス、楚ノ為メニ獲ラシ、常ニ
軍中ニ置テ贖ト為ス、漢王、滎陽ニ至
ル、滎陽郡名、諸ノ敗軍、皆ナ會ス、蕭
何モ亦関中ノ老弱ヲ發シ、悉ク滎陽
ニ詣ラシム、漢軍復ク大ニ振フ、蕭
何、関中ヲ守ル、宗廟社稷縣邑ヲ立ツ、
事便宜ヲ以テ施シ行フ、関中ノ戸口
ヲ計テ、轉漕ノ兵ヲ調ス、未ク嘗テ之
絶ナラス、魏王豹叛ス、漢王韓信ヲ

遣ハシ、之ヲ擊シム、豹、柏直ヲ以テ大
將トナス、柏直姓名、王ノ曰ク、是レ口尚ヲ
乳嗅ナリ、安シク能ク韓信ニ當ラン
ト、信、兵ヲ伏テ夏陽ヨリ木罽ヲ以テ
軍ヲ渡シ、夏陽縣、河安邑ヲ襲ク、豹ヲ
虜ニス、安邑縣、鮮信既ニ魏ヲ定メ、兵
三萬人ヲ請フ、願クハ以テ北ノ方燕
趙ヲ舉ケ、東ノ方齊ヲ擊テ、南ノ方楚
ノ糧道ヲ絶テ、西ノ方大王ト滎陽ニ
會ヤント、王、張敖ヲ遣ハシ、與ニ俱ニ
セシム、三年、信、耳、兵ヲ以テ、趙ヲ擊

軌ヲ方フハ、
比ナリ、軌ハ、
並行ヲ謂フナ
リ、輜重輜八、
ナリ、軍糧什物
雜廁ノ之ヲ載
ス、其ノ重キヲ
累スルヲ以テ
稱ス、故ニ輜重ト
稱ス、壁ヲト
墨ト曰フ

傳發傳令ノ起
發ス、鼓行、鼓
鳴ノ行ク

韓信水ヲ背メ陣
スル音



ツ、兵ヲ井陘口ニ聚ム、井陘山ノ名、威州ノ井陘縣ニ
リ、趙王歇及ヒ成安君陳餘之ヲ禦ク、
李左車、餘ニ謂テ曰ク、井陘ノ道ハ、車
軌ヲ方ルヲ得ス、騎列ヲ成スヲ得ズ、
其ノ勢、糧食必ス後ニ在ラシ、願クハ
奇兵ヲ得テ、間道ヨリ其輜重ヲ絶シ、
足下、溝ヲ深シ、壘ヲ高メ、與ニ戰フナ
カレ、彼前シテ、鬪ヲ得ス、退テ還ヲ得
ス、野ニ掠ル所ナシ、十日ナラズノ兩
將ノ頭、麾下ニ致ス可シト、餘ハ、儒者
ニメ、自ラ義兵ト稱ス、奇計ヲ用ヒズ、

信、間テ之ヲ知り、大ニ喜ヒ、乃チ敢テ
下ル、未夕井陘口ニ至ラズメ止マル、
夜半ニ輕騎二千ハ、傳發ス、人コト
ニ赤幟ヲ持テ、間道ヨリ向ヒ、前シメ、
陳餘カ軍營ヲ望ミ見テ、即チ往ク、戒
テ曰ク、趙、我カ走ヲ見ハ、必ス壁ヲ空
ノ我ヲ逐ハシ、若チ疾ク趙壁ニ入り、
趙幟ヲ拔テ、漢ノ赤幟ヲ立テヨト、乃
チ万人ヲ先メ水ヲ背ニシテ陣セ
シム、平旦ニ、大將ノ旗鼓ヲ建テ、鼓行
メ井陘口ヲ出ツ、趙壁ヲ開テ、之ヲ擊

〔殊死〕殊ハ絶ナリ、謂ハ、意ヲ必死ニ決ス、兵法孫子ニ出ツ

ツ、戰フテ良久シ、信、耳、佯ツテ鼓旗ヲ棄テ、水上ノ軍ニ走ル、趙、果ノ壁ヲ空ノ之ヲ逐フ、水上ノ軍、皆ナ殊死ノ戰フ、趙軍已テニ、信等ヲ失ノ、壁ニ帰ル、赤幟ヲ見テ、大ニ驚ク、遂ニ乱テ遁走ル、漢軍夾撃ツテ、大ニ之ヲ破リ、陳餘ヲ斬リ、趙歇ヲ擒ニス、諸將賀ス、曰テ問テ曰ク、兵法ニ山陵ヲ右倍シ、水澤ヲ前左ニスト、今マ水ヲ背ニシテ而ノ勝ツハ、何ソヤト、信カ曰ク、兵法ニ曰ハズヤ、之ヲ死地ニ陷テ、而ノ後ニ

〔募〕贖ナリ

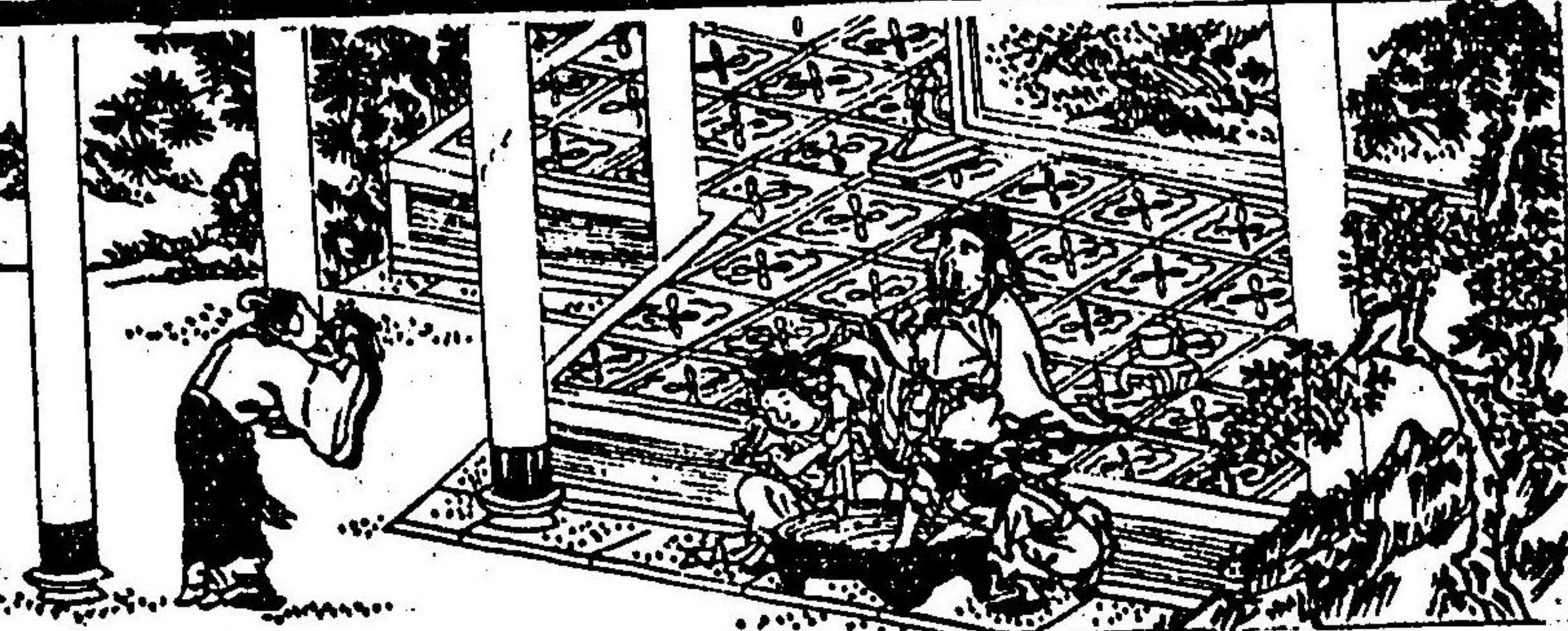
〔畔〕叛ト同シ

生ス之ヲ七地ニ置テ、而ノ後ニ存ス
○綿蔓水、一名ハ、四星、并州ヨリ井陘トノ界ニ流入ス、韓信カ背水ノ陣、之ヲ死地ニ陷ハ、諸將皆ナ服ス、信、募テ李左車ヲ得テ、縛ヲ解テ之ニ師トシ事ヘ、其ノ策ヲ用ヒ、辨士ヲ遣ハシ、書ヲ燕ニ奉セシム、燕、風ニ從テ靡ク○
隨何、九江王、九江國、九黥布ニ説テ、楚ニ畔テ、漢ニ歸セシム、楚ノ將ハ、英氏ニ少時ヲ以テ入アリ、相ルヘシト、當ニサニ刑セラレテ、王タルハ、足ヲ洗ス至ル、漢王、方サニ床ニ踏メ、足ヲ洗ス布ヲ召メ、入テ見ヘシム、布、悔ヒ怒テ

帳御帷帳及具
凡ソ服御ノ具
ヲ謂フ望ニ過
クハカ望ルナ
リ前箸ヲ借ル
云々食スル所
ノ箸ヲ求メ借
リ用ヒテ一指
畫スルナリ一
說ニ前世湯武
箸明ノ事ヲ借
リ以テ今時ノ
策カサルヲ籌
策スルナリト

自殺セント欲ス、出テ舎ニ就クニ及
テ帳御、食飲、從官、皆ナ漢王ノ居ノ如
シ、又大ニ喜ス、望ニ過タリト。○酈食
其、漢王ニ説ク、六國ノ後ヲ立テヨト、
王曰ク、趣カニ印ヲ刻セヨト、張良來
謁ス、王方サニ食ス、具サニ良ニ告ク、
良曰ク、請フ前箸ヲ借リ、大王ノ為メ
ニ之ヲ籌ラント、遂ニ八難ヲ發ス
一ニ封スル者ハ、能ク死シテ命ヲ制ス
命ヲ度ルナリ、今マ陛下能ク項籍ノ死
入リ、商容カ問ニ表シ、箕子ノ囚ヲ釋
シ、比干カ墓ヲ封ス、今陛下能ク殷ノ
ニ之ヲ籌ラント、遂ニ八難ヲ發ス
一ニ封スル者ハ、能ク死シテ命ヲ制ス
命ヲ度ルナリ、今マ陛下能ク項籍ノ死
入リ、商容カ問ニ表シ、箕子ノ囚ヲ釋
シ、比干カ墓ヲ封ス、今陛下能ク殷ノ

漢王床ニ踞メ
黥布ヲ見ル番



三ニ散リ、以テ鉅搗ノ粟ヲ發シ、鹿臺
テセシカト、五ニ曰ク、馬ヲ華山ノ陽ニ
復テ革ヲ用ヒ、六ニ曰ク、牛ヲ積サノ野
ヘシ、カト、五ニ曰ク、馬ヲ華山ノ陽ニ
セシ、カト、五ニ曰ク、馬ヲ華山ノ陽ニ
息ハシ、今マ陛下能ク復シ、牛ヲ積サノ
示ス、今マ陛下能ク復シ、牛ヲ積サノ
ハ即チ下ニ遊シ、楚ヨリ七、兵ヲ轡
ナリ、軒ヲ赤ニ乘リ、武備ヲハ、兵ヲ
テ、礼ヲ治ル、謂ナリ、説ニ、兵ヲ其
車ナリ、乘車ヲ用ユル、謂ナリ、兵ヲ其
ニ曰ク、天下ノ遊士、親戚ヲ離レ、墳墓
ヲ棄テ、大王ニ從テ、遊ブ者ハ、徳ニ
尺寸ノ地ヲ欲望スレバナリ、今復六

西漢 高帝 六

六國復捷、勢屈スル云々、
 撓ト為ス、言ハ
 當今唯楚大ナハ
 リ、之ヨリ強キ
 者アルナシ、若
 シ復六國ヲ立
 テハ、皆ナシテ
 之ニ從フナリ
 〔豎儒〕言ハ、賤劣
 無智ニシ、童豎
 ノ若キナリ
 〔乃公〕乃ハ汝、公
 ハ漢王自ラ謂
 フナリ、骨鯁ノ
 臣骨、四支ニ疆
 キヲ、鯁ト曰フ、
 故ニ君忠臣ヲ
 謂テ、亦骨鯁ト
 曰ス、一説ニ、骨
 ヲ食テ喉中ニ
 留ルナリ、世ニ

國ノ後ヲ立テバ、游子各歸テ其ノ主
 ニ事ヘシ、大王、誰ト與ニ天下ヲ取ラ
 シヤ、且ツ楚ヨリ惟疆キハナシ、六國
 復タ撓テ、之ニ從ハシ、大王馬ノ得テ
 之ヲ臣トセンヤ、誠ニ客ノ謀ヲ用ヒ
 ハ、大事去ント、漢王、食ヲ輟メ、哺ヲ吐
 キ、罵テ曰ク、豎儒、幾シド乃公ノ事ヲ
 敗ントスト、趣カニ印ヲ銷サシム○
 楚、漢王ヲ滎陽ニ圍ム、漢王、陳平ニ謂
 テ曰ク、天下紛々タリ、何ノ時カ定ラ
 シヤト、平カ曰ク、項王カ骨鯁ノ臣ハ

〔骨鯁〕ノ臣ヲ以
 テ、骨鯁トナス、
 直言受ケ難キ
 骨ノ如キヲ
 謂フ

亞父ノ輩、數人ノミ、間ヲ行テ、以テ其
 心ヲ疑ハシメ、ハ、楚ヲ破ラシム、必セ
 リ、王、平ニ黄金四万斤ヲ与フ、其ノ出
 入ヲ問ハス、平、多ク反間ヲ縱ツ、羽大
 ニ亞父ヲ疑フ、骸骨ヲ請テ、歸リ、疽背
 ニ發シ、死ス○楚、漢王ヲ圍フ、益急ナ
 リ、紀信カ曰ク、事急ナリ、請フ楚ヲ誑
 カント、乃チ漢王ノ車ニ乘リ、東門ヨ
 リ出ツ、曰ク、食盡テ、漢王出テ降ルト、
 楚人、皆ナ城東ニ之テ、漢王ヲ觀ル、漢
 王、乃チ西門ヨリ出テ、去テ得タリ、項

一、杯羹古ハ、杯
 ヲ以テ羹ヲ盛
 ル故ニ一、杯羹
 ト曰フ、飛戰ニ
 人獨ニ勝取ヲ
 較スルヲ謂フ
 十罪羽約ヲ負
 テ我ヲ漢ニ王
 トス、罪一、矯
 卿子冠軍ヲ殺
 ス罪二、趙救
 ヒ選リ、報セ
 メ檀ニ諸侯ノ
 兵ヲ劫メ、秦
 入ル罪三、秦
 宮室ヲ燒キ、
 皇ノ財ヲ掘キ、
 其ノ財ヲ私ス、
 罪四、秦ノ降
 子嬰ヲ殺ス、
 罪五、新秦ニ
 弟ヲ新秦ニ
 子罪

ノ懷王ニ事へ、約メ兄弟トナル、吾ガ
 煥ハ、即チ若ノ煥ナリ、必ス而カ翁ヲ
 烹ト欲セバ、幸ニ我ニ一杯ノ羹ヲ分
 テト、羽、王ト挑戰セント欲スト、王曰
 久、吾レ寧智ヲ圖シメ、カヲ圖シメ
 ズト、曰テ羽カ十罪ヲ數フ、羽、大ニ怒
 テ、弩ヲ伏セ王ヲ射テ、胸ヲ傷ツク
 楚、龍且ヲノ齊ヲ救ハシム、龍且カ曰
 ク韓信ハ、与シ易キノミ、漂母ニ寄食
 シ、身ヲ資ルノ策ナク、辱ヲ膺下ニ受
 ヲ人ヲ兼ルノ勇ナシ進テ、信ト淮水

十、罪六、諸將ヲ
 ス、罪六、諸將ヲ
 善地ニ王トシ
 故ノ主ヲ徙シ
 逐フ、罪七、義
 ヲ出シ、罪七、義
 ラ彭城ニ逐ヒ、
 韓梁、地ヲ奪
 フ、罪八、人ヲ
 陰ニ義帝ヲ江
 南ニ殺サシム、
 罪九、政ヲナス
 平ナラズ、約
 守ル信ナラズ、
 天下ノ容サハ
 天口大逆無道
 罪十、大逆無道
 易シ、猶ヲ當ヤ
 スシト言カコ
 トシト言カコ
 入ヲ兼ルノ勇
 ハ勇氣ノ入ニ

ヲ夾テ陣ス淮水、密州ノ葦縣、淮山ニ
 ニ至リ、海信、夜人ヲメ沙ヲ囊ニメ水
 ノ上流ヲ壅セシメ、半渡ニメ且ヲ擊
 テ、佯リ敗レテ、還リ走ル、且、之ヲ追テ、
 信、水ヲ決セシム、且カ軍、大半渡ヲ
 得ズ、急ニ擊テ、且ヲ殺ス、信、人ヲメ之
 ヲ漢王ニ言ハシム、請フ假王ト為リ
 テ以テ齊ヲ鎮セント、漢王大ニ怒テ、
 之ヲ罵ルニ是、漢王時ニ當テ、楚方サニ急
 ノ使者至ルニ、漢王大ニ怒リ、罵テ曰ク、
 吾レ此ニ困ム、旦暮ニ汝カ来テ我ヲ
 佐ララント欲ス、カト、張良、陣平、足

西漢 高帝 王

加ハル一、一倍
スルヲ謂フナ
リ足ヲ踏ム以
ノ足ヲ踏ム以
テ之ヲ喻ス

ヲ躡ミ、耳ニ附テ語ル良平、自ラ耳ニ
方サニ不利ナリ寧ソ能ク信カ王、悟
自王タルヲ禁センヤノ語アリ王、悟
ル、復夕罵テ曰久、大丈夫諸侯ヲ定ム、
即チ真王タラシノミ、何ソ假ヲ以テ
為ント、印ヲ遣リ信ヲ立テ、齊王ト
為ス。○項羽、龍且カ死スト聞テ、大ニ
懼ル武渉ヲメ信ニ説カシム、與連和
メ、天下ヲ三分セント欲スト、信カ曰
久、漢王我ニ上將軍ノ印ヲ授ケ衣ヲ
解テ我ニ衣セ、食ヲ推メ我ニ食シム
言聽レ、計用ラル我レ之ニ倍カハ、不

大半凡ソ數三
今ニメニアス
ヲ大半トナス

祥ナリ、死スト雖モ、易ヘズト、蒯徹モ
亦信ニ説ク過ス君ノ背ヲ相ルニ封侯ニ
言ノ可ラサ信聽カズ。○漢黥布ヲ立
テ、淮南王トナス。〔淮南〕國九。○項王、
助少ク、食盡久韓信又兵ヲ進テ之ヲ
擊ツ、羽乃チ漢ト約ス、天下ヲ中分メ
鴻溝カ荊陽ノ下、河ノ東南ヲ引キ、鴻溝
以西ハ、漢トナシ、以東ハ楚、為サン
ト、太公、呂后ヲ帰シ、解テ東帰ス、漢王
モ亦西ニ帰ラント欲ス、張良陣平カ
曰久、漢、天下ノ大半ヲ有ツ、楚ノ兵饑

項羽決戦ノ音



潰ノ南ニ出ツ、淮ヲ渡ントス、迷テ道
 ヲ失フ、大澤ノ中ニ陥ル、漢ノ追兵モ
 之ニ及フ、東城ニ至ル東城、今和州ニ
 縣乃二十八騎アリ、羽、騎ニ謂テ曰ク、
 吾レ兵ヲ起メヨリ、八歳ニ七十餘戰、
 未夕嘗テ敗レザルナリ、今マ卒ニ此
 ニ困ス、此天ノ我ヲ亡スナリ、戦ノ罪
 ニアラス、今日固ヨリ死ヲ決セリ、願
 クハ諸君ノ為メニ決戦ス、必ス圍ヲ
 潰シテ、將ヲ斬リ、諸君ヲメ之ヲ知ラ
 シメント、皆ナ其言ノ如シ漢ノ一將

〔機〕松ヲ整テ、岸
 二向ヲ、機ト曰

斬リ、數十百人ヲ殺シ、是ニ於テ、東ノ方
 ス、諸騎皆ナ伏ス、鳥江ヲ渡ラント欲ス、城ニ江浦、東亭ノ
 長、松ヲ機メ、待ツ、曰ク、江東小ナリト
 雖モ、亦以テ王タルニ足レリ、願クハ
 急ニ渡レト、羽ノ曰ク、藉、江東ノ子弟
 八千人ト江ヲ渡テ、西ス、今マ一人ノ
 還ルナシ、縦江東ノ父兄、憐テ我ヲ王
 トス、凡我何ノ面目アツテ、復夕見ン、
 獨心ニ愧ガランヤト、乃チ勿テ死ス、
 楚ノ地、悉ク定ル、獨魯ノミ下ラス、王
 之ヲ辱ント欲ス、城下ニ至ル、猶ヲ弦

漢王魯ノ城下ニ至リ
絃誦ノ声ヲ聞ク番



誦ノ聲ヲ聞久其ノ礼義ヲ守ルノ國
ニメ主ノ為メニ節ニ死スルカ為メ
ニ羽力頭ヲ持メ之ニ示ス乃チ降ス
王還ル馳テ齊王信カ壁ニ入り其軍
ヲ奪ヒ信ヲ立テ、楚王ト為ス淮北
ニタリ下邳彭越ヲ梁王ト為ス魏ノ地
ニリ、都ス陶漢王、皇帝ノ位ニ即ク○洛陽
ノ南宮ニ置酒ス上ノ曰ク、徹侯諸將
皆ナ言ヘ、吾カ天下ヲ得ルユヘシノ
者ハ、何ソ、項氏ノ天下ヲ失フユヘシ
ノ者ハ、何ソト、高起、王陵、對テ曰ク、陛

徹猶ホ列ノコ
トキナリ
帷幄前ニ在ル
ヲ悉スラ、帷ト
曰フ悉スラ、帷ト

下、人ヲメ城ヲ攻メ、地ヲ掠セシム、曰
テ之ニ与フ、天下ト其ノ利ヲ同フス、
項羽ハ、然ラス、有功ノ者ハ之ヲ害シ、
賢者ヲハ、之ヲ疑フ、戰、勝トモ而レ
人ニ功ヲ与ヘス、地ヲ得レ、人ニ利
ヲ与ヘスト、上ノ曰ク、公、其ノ一ヲ知
テ、未タ其ノ二ヲ知ラス、夫レ籌ヲ帷
幄ノ中ニ運シ、勝ヲ千里ノ外ニ決ス
ルハ、吾レ子房ニ如カス子房、張良、國家
ヲ填メ、百姓ヲ撫シ、餽餉ヲ給シ、糧道
ヲ絶タザルハ、吾レ蕭何ニ如カス、百

万ノ衆ヲ連テ、戦ヘハ必ス勝テ、攻レ
 ハ必ス取ルハ、吾レ韓信ニ如カス、此
 ノ三人ハ、皆ナ人傑ナリ、吾レ能ク之
 ヲ用ユ、此レ吾カ天下ヲ取ルユヘシ
 ナリ、項羽ハ一ノ范增アレ氏、而レ氏
 用ユル能ハズ、此レ其ノ我カ為メニ、
 擒ニセラル、ユヘンナリト、群臣悦
 服ス○故ノ齊ノ田横齊王廣其徒五
 百餘人ト、海島ニ入ル、上之ヲ召テ曰
 久、横来レ、大ニメハ王トセシ、小ニメ
 ハ侯トセシ、来ラスンハ且子ニ兵ヲ舉

島山水中曰在
 島ト曰在

傳車ナリ、賞ヲ
 購テ以テ告ル
 懸テ以テ告ル
 者ヲ募ル
 鬻スルハ、鬻ヲ
 鬻スルハ、鬻ヲ
 鬻スルハ、鬻ヲ
 鬻スルハ、鬻ヲ

天、誅セント大小云々此レ猶ラ、大ニ
 フカコトシ、横カ身王侯ノニツ横ニ
 ノ者ノ出テサルヲ謂フテリ
 客ト傳ニ乘リ、洛陽ノ郷ニ至リ、自
 到ス、王礼ヲ以テ、之ヲ葬ムル、ニ客自
 到メ之ニ従フ、五百人馮中ニ在ル者、
 之ヲ聞テ自殺ス○初メ季布、項羽ノ
 將トナリ、數帝ヲ窘ム、羽滅テ帝、布ヲ
 購求ス、敢テ匿ス者ハ、三族ヲ罪セン
 ト、布乃チ鬻シ鉗カノ奴ト為リ、自ラ魯ノ
 朱家ニ賣ル朱家人名、布、濮陽ノ周氏
 軍ヲ求ル急ナリ、迹且サニ臣カ家ニ
 至ラントス、能ク臣ニ聴カハ、臣敢テ

西漢 高帝 季布

廣轍車一説ニ、皆棺飾ナリ、載スルニ喪車ヲ以テス、人欲スルヲ知ラナリ

計ヲ進メント、布之ヲ許ス、地ナ布ヲ
鬻之、之ヲ賣ル。廣柳車、皆ナ棺飾
ナリ、載スルニ喪車ヲ以テス、人
知フサラシムルナリ、服度ノ曰ク、
東郡、廣轍車ヲ謂テ、柳トナスト
家、心ニ其ノ布ナルヲ知ルヤ、洛陽ニ
之テ滕公ヲ見テ曰ク、滕公夏李布何
ノ罪アル、臣ハ、各其主ノ為ニスル
ノミ、布ノ賢ヲ以テ、漢之ヲ求ムル急
ナラハ、北ノ方胡ニ走ラスンハ、南ノ
方越ニ走ランノミ、此レ壯士ヲ棄テ
、敵國ヲ資クルナリト、滕公上ニ言
ス、乃チ布ヲ赦シ、召テ郎中トナス

短兵ノ刃、劍ナリ、
我車相迫リ、
穀相錯リ、
施サス、故ニ長短兵ヲ以テ、
兵ヲ用テ、相接ス、
擊ス、兩賢高祖謂
トナリ、言ハ、吾
レト公ト俱ニ
是レ賢、豈ニ相
厄困ス可キ、
大故ニ感ノ止
ムナリ、一説、
賢ハ李布ト、
公トナリ、謂フ
リ、厄ト謂フナリ、
持ナリ、妾敬、
名後ニ姓ス、
ト賜フ

官ノ○丁公李布ノ項羽ノ將ト為リ、
嘗テ帝ヲ彭城ノ西ニ窘ム、短兵ヲ以
テ接ス、帝、急ナリ、顧テ曰ク、兩賢豈ニ
相厄センヤト、丁公乃チ還ル、是ニ至
テ謁見ス、帝、以テ軍中ニ徇テ、曰ク、
公臣トナツテ、不臣ナリ、項王ヲノ天
下ヲ失シムト、遂ニ之ヲ斬ル、曰ク、後
ノ人臣タル者ヲ、丁公ニ效フナカ
ラシムルナリト○齊人嬰敬、上ニ説
テ曰ク、洛陽ハ、天下ノ中ナリ、徳アレ
ハ、以テ興リ易ク、徳ナケレハ、以テ亡

案猶ヲ據ノ
トキノリ、尤
ヲ以テ関中ニ
テ、背脊ヲ以
テ、天下ニ喻
病ヲ謝ス云フ
辟穀道引ソ食
ハス、静居氣ヲ
行テ以テ道ヲ
学フナリ

易シ、秦ノ地ハ、山ヲ被リ、河ヲ帶ヒ
四塞以テ固トナス、陛下、秦ノ故ヲ案
セハ、此レ天下ノ^尤ヲ^抑テ其背ヲ折
ツナリト、上、張良ニ問ス、良力曰久洛
陽ハ、四面ニ敵ヲ受テ、武ヲ用ユルノ
國ニ非ラス、関中ハ、峭函ヲ左ニシ、隴
蜀ヲ右ニス隴州、鞏昌ニ屬ス、三面ヲ
隔テ、守ル、敬カ説是ナリト、上、即日
西ノ関中ニ都ス○留侯留侯、留名張
良、病ヲ謝シ、穀ヲ辟ク、日久、家世韓ニ
相タリ、韓滅テ韓ノ為ノニ讎ヲ報ス、

〔地〕楚人、橋ヲ謂
テ、地ト曰フ

今マ三寸ノ舌ヲ以テ、帝者ノ師ト為
リ、万戸侯ニ封セラル、此レ布衣ノ極
ナリ、願クハ人間ノ事ヲ棄テ、赤松子
ニ從テ遊シノミト赤松子、神農ノ時
良、少キ時下邳ノ^地上ニ於テ邳、縣、邳
老人ニ遇ス、履ヲ地下ニ墮ス、良ニ謂
テ曰ク、孺子下テ履ヲ取レト、良之ヲ
歐ント欲ス、其老タルヲ憫ミ、乃チ下
テ履ヲ取ル、老人足ヲ以テ之ヲ受ク、
曰ク、孺子教ユベシ、後五日我ト此ニ
期セント、良、期ノ如ク往ク、老人已テ

張良老人ニ遇フ畧



ニ先ヅ在リ、怒テ曰ク、長者ト期ス、後
 ル、ハ何ゾヤト、復タ五日ヲ約ス、往
 ニ及テ、老人又先ツ在リ、怒ル、復タ五
 日ヲ約ス、良、半夜ニ往ク、老人至ル、乃
 チ喜フ、授ルニ一編ノ書ヲ以テス、曰
 ク、此ヲ讀マハ、帝者ノ師タル可シ、異
 日、濟北穀城山下ノ黄石ヲ見キ、即チ
 我ナリト、穀城山東且ニ之レ視レハ、
 乃チ太公望ノ兵法ナリ、良、之ヲ異ト
 シ、晝夜習讀ス、既ニ上ヲ佐テ、天下ヲ
 定ム、功臣ヲ封スルトキ、良ヲメ自ラ

齊ノ三万戸ヲ擇バシム、良ガ曰ク、臣
 始メ陛下ト留ニ遇フ、此レ天ノ臣ヲ
 以テ、陛下ニ授ルナリ、留ニ封セラレ
 レハ足レリト、後チ穀城ヲ經ルニ、果
 メ黄石ヲ得タリ、之ヲ奉祀ス、○六年、
 人、上書メ楚王韓信及スト告ルアリ、
 諸將ノ曰ク、兵ヲ發メ、孺子ヲ玩ニセ
 シト、上、陣平ニ問フ、平、之ヲ危トス、上
 曰ク、之ヲ為ス、奈何ント、平カ曰ク、古
 ニ天子巡狩メ、諸侯ヲ會スルアリ、陛
 下策出テ雲夢ニ偽遊シ、諸侯ヲ陳

械拮ナリ
從容其容止ニ
從任メ、矜莊
ナルヲ謂フナセ

會シ、曰テ之ヲ擒ニセバ一カ士ノ事
ノミト雲夢楚ノ北連亘千里上之ニ從
フ、諸侯ニ告久、陳ニ會セヨ、吾レ將サ
ニ雲夢ニ遊ハントス、陳ニ至ル信上
謂ス、武士ニ命メ、信ヲ縛セシメ、後車
ニ載ス、信カ曰久、果メ人ノ言ノ若シ、
狡兔死メ、走狗烹ラル、飛鳥盡テ良弓
藏クル、敵國破レテ、謀臣亡フト、天下
已テニ定マル、臣、固ヨリ當サニ烹ラ
ルベシト、遂ニ械繫メ以テ歸ル、赦メ
淮陰侯トナス、上、嘗テ從容トメ、信ニ

〔并〕理ナリ

諸將ノ能ク兵ニ將タルト多少ヲ問
フ、上ノ曰ク、我カ如キハ、能ク幾何ニ
カ將タラント、信カ曰久、陛下ハ、十万
ニ將タルニ過キスト、上ノ曰久、君ニ
於テハ、何如シト、曰久、臣ハ多々益辨
スト、上、笑テ曰久、多々益弁セハ、何ヲ
以テカ我カ為メニ擒ニセラルト、曰
久、陛下ハ兵ニ將タル能ハズ、而レモ
善ク將ニ將タリ、此レ信カ陛下ノ為
メニ擒ニセラルユヘンナリ、且ツ陛
下ハ、謂ユル天授ナリ、人カニ非ラザ

堅銳 堅甲銳兵
銳ハ猶ヲ利ノ
コトキナリ
發 繼ヲ解テ
之ヲ放スル
ヲ謂フナリ
指示ニ示スナリ

ルナリト○符ヲ剖テ、功臣ヲ封ス、
侯蕭何鄴邑南陽食邑獨多シ、功臣皆
十日久、臣等堅ヲ被リ、銳ヲ執ル、多キ
者ハ百餘戰、少キ者ハ數十合、蕭何、未
夕嘗テ汗馬ノ勞アラズ、徒ニ文墨ヲ
持テ議論ス、及テ臣等カ上ニ居ルハ
何ゾヤト、上ノ曰ク、諸君獵ヲ知レリ
ヤ、獸ヲ逐殺スル者ハ、狗ナリ、發繼指
示スル者ハ、人ナリ、諸君ハ徒ニ能ク
走獸ヲ得ルノミ、功ハ狗ナリ、蕭何カ
如キハ、功ハ人ナリト、群臣皆ナ敢テ

此ノ屬諸將ヲ
謂フナリ

言フ者ナシ○上、已テニ大功ノ臣ヲ
封ス、餘ハ功ヲ争テ、決セス、上復道ノ
以ヨリ、望見スルニ、諸將往々ニ沙中
ニ坐シ、相与ニ語ル、上、張良ニ問フ、良
カ曰ク、陛下此ノ屬多ヲ以テ、天下ヲ取
ル、今マ封スル所ハ、皆ナ故人親愛、誅
スル所人、皆ナ平生ノ仇怨ナリ、此ノ
屬盡ク封スル能ハザルヲ畏ル、又平
生ノ過失ヲ疑ハレテ、誅ニ及ンテ、
恐ル、故ニ相聚テ、及テ謀ルノミト、上
ノ曰ク、奈何セント、良カ曰ク、陛下ノ

〔元〕大ナリ

〔元功〕元ハ大ナ

平生憎ム所ノ群臣ノ共ニ知ル所ハ、
 誰カ最モ甚シキ者ゾ、上ノ曰ク、雍齒
 ナリ〔雍齒〕姓名、高帝嘗テ豊ヲ守ラ良
 カ曰ク、急ニ先ツ齒ヲ封ゼヨト、是ニ
 於テ、齒ヲ封メ什邡侯ト為ス〔什邡〕縣
 州ニ屬ス漢而メ急ニ丞相御史ヲ趣
 メ、功ヲ定メ、封ヲ行ス、群臣皆ナ喜テ
 曰ク、雍齒スラ且ツ功タリ、吾カ屬患
 ナシト、詔メ元功十八人ノ位次ヲ定
 メ、丞相何ニ劍履メ殿ニ上リ、入朝シ、
 趨ラサルヲ賜フ干八人、蕭何、曹參、張

〔太上皇〕太上
 極尊ノ稱ナリ、
 皇ノ父、故ナリ、
 子ノ皇ト曰フ、
 ノ治ムルニ豫
 フラス、故ニ帝
 カラス、サレニ
 ト言ハサルナリ

商、夏、侯、嬰、灌、嬰、傅、寬、靳、歙、王、陵、
 陳、武、王、吸、薛、歐、周、昌、丁、復、蟲、達、
 尊テ、太上皇トナス。○帝、秦ノ苛法
 ニ懲テ、簡、陽ヲ為ス、群臣、酒ヲ飲テ、功
 ヲ争フ、醉テ、或ハ妄呼シ、劍ヲ拔テ、柱
 ヲ撃ツ、孫通ハ姓ナリ、孫上ニ説テ
 曰ク、儒者ハ、与ニ進テ、取リ難シ、与ニ
 成ルヲ守ルベシ、願クハ魯ノ諸生ヲ
 徵メ、共ニ朝儀ヲ起サント上之ニ從
 フ、魯ニ兩生アリ、肯テ行カズ、曰ク、礼
 樂ハ、徳ヲ積テ、而メ後ニ興スベキナ
 リト、通、徵ス所ノ諸生、及ヒ上ノ左右

絲莖八綿索
置キ設テ習
辨ノ必ヲ為ス
剪ヲ以テ地ニ
植テ莖ヲ為リ
尊卑ノ次ヲ位
スルヲ謂フ
百石月俸七十
斛比六百石八
六十斛百石朝
礼ノ畢ルヲ謂
フナリ酒ヲ猶
カコトキナリ
之ヲ飲テ醉ニ
至ラサルヲ謂
フ

ト、弟子百餘人ト絲莖ヲ野外ニ為人
之ヲ習ハスノ外孫通抱鼓ヲ捨テ一王
事ナ○七年、冬十月、長樂宮成ル、諸侯
群臣皆ナ朝賀ス、謁者礼ヲ治シ、諸侯
王以下、吏ノ六百石ニ至ルマテヲ引
テ、次ヲ以テ奉賀ス、振恐肅敬セザル
ナシ、礼畢テ法酒ヲ置キ、御史御史御
七ツアリ、曰ク、御史曰ク、御史曰ク、
久、殿中侍御史曰ク、御史曰ク、
丞、曰ク、侍御史曰ク、御史曰ク、
殿中侍御史曰ク、御史曰ク、
ト謂ス、此蓋シク殿中侍御史之供
奉ヲ掌リ、班列ヲ正ス者ナリ、
執儀ノ如クセザル者ヲ舉テ輒テ
引キ去ル、朝ヲ竟ヘ、酒ヲ罷ルマデ、敢
テ喧譁ノ礼ヲ失フ者ナシ、上ノ曰ク、
吾レ乃チ今日皇帝タルノ責ヲ知ル
ナリト、通ヲ拜ノ太常トナス、
ト作ル、九御ノ一、天神人鬼地祇、
ト、書ニ秩宗ト曰フ、即チ其任ナリ
○匈奴、邊ニ寇ス、帝、自ラ將トシ、
擊ツ、冒頓、單于、軍ヲ一、匈奴ノ天子ノ
大ノ負言ハ、其ノ冒頓ハ、單于然タル
象トルナリト、冒頓ハ、單于然タル
代ノ上谷ニ居ルト、聞テ、兵三十万ヲ
悉ク、北ノ之ヲ逐フ、
ナ、易州平城ニ至ル、
同平城縣、大冒頓カ精

高帝長樂宮ニ御、朝賀ヲ受ル番



西漢高帝
易州平城ニ至ル、
同平城縣、大冒頓カ精

奇計其世得計頌
聞ケテ請ヒ偽テ人
曰フ、請ヒ偽テ人
雲夢ニ遊ヒ、与
ニ足ラテ語ミ、耳
ニ附ケテ語リ、
間ヲ行テ、楚ノ
君臣ヲ疑テ、以
テ楚ノ使ヲ以
テ、約ニ背カシ
メ、關氏ニ厚遺
シム等、是ナリ
ト封邑ヲ益ス
戸儲侯ヨリ、曲
逆侯ニ至ル、史
記ノ本傳ニ、曲
逆ハ、今マ見ニ
五千戸ト、而ル
ニ戸儲ノ戸数

兵四十万騎、帝ヲ白登ニ圍ム。七日
〔百登〕縣、大陳平力秘計ヲ用テ、間ヲソ
同ニ屬ス。陳平力秘計ヲ用テ、間ヲソ
關氏ニ厚遺ヒシム。關氏、單于冒頓、乃
チ圍ヲ解キ去ル。平、帝ニ從テ、征伐ス、
凡ソ六タヒ奇計ヲ出ス、輒チ封邑ヲ
益ス。〇九年、劉敬ヲ遣ハシ、匈奴ニ使
セシメ、和親ス。家人ノ子ヲ取テ、公主
ト名ツケ、單于ニ妻ス。〇十年、代ノ相
國子、即チ文帝ナリ。第三陳豨反ス。帝、自
ラ將トシ、之ヲ擊ツ。淮陰侯韓信カ舍
入ノ弟、樂説ハ變ヲ上ツリ、信ガ陰ニ豨

ヲ載セス。〔家人
ノ子〕、庶人ノ家
ナリト、子モ亦女
ナリト、公主、公
ニ非ラズ、名
ツケテ、公主ト
曰フ、公、主ハ、天
子ノ女ナリ、變
ヲ上ツル、上書
ノ非、常ノ事ヲ
告ルヲ謂フ、其
下ニ、鹿ヲ失フ、天

ト謀ラ告ク、其ノ舍人、罪ヲ信ニ得ク
ス、故ニ舍人ノ弟、信カ反、呂后、蕭何ト
セシ、詐テ豨已テニ敗死ス。ト稱シ、信
ヲ給テ、入テ賀セシメ、武士ヲシテ、信ヲ
縛セシメ、之ヲ斬ル。信カ曰ク、吾レ悔
ラクハ、蒯徹ノ謀ヲ用ヒズ、乃チ兒
女子ノ為メニ詐ラレト、遂ニ三族ヲ
夷セラル。〇十一年、帝、豨ヲ破テ、還ル、
詔メ、蒯徹ヲ捕フ。上、還ル、信カ死ヲ問
スト、トキ、亦何ソカ言ハン、曰ク、信言フ、
恨ラクハ、蒯徹ノ計ヲ用ヒズ、信言フ、
齊ニ詔フ、至ル、曰ク、秦、其ノ鹿ヲ失フ、
之ヲ捕フ、至ル、曰ク、秦、其ノ鹿ヲ失フ、

〔扈輒〕梁ノ將

〔掩〕襲ナリ

天下共ニ逐フ、高材疾足ノ者、先ツ之ヲ得ル、當時、臣獨韓信ヲ知ル、陛下ヲ知ルニ非ラス、天下、陛下ノ為ス所ヲ為サント欲スル者、甚ダ多シ、力能ハザルノミ、又盡ク烹ルベキヤト其狗、各主ニ非ラサルヲ帝之ヲ赦ス○梁王彭越が太僕〔太僕〕官名、群僕侍御ヲ正此レ其ノ將扈輒名越ヲ勸メテ、一ナリ反スト告グ、上、人ヲノ越ヲ掩フ之ヲ囚ヘシム、及形已デニ具ハル、赦ノ蜀ニ處ラシム、呂后ノ曰ク、此レ自ラ患

〔約〕約束ナリ

ヲ遺スナリト、遂ニ之ヲ誅メ、三族ヲ夷ス○陸賈ヲ遣ハシ、南海ノ尉佗ヲ立テ、南越王ト為ス〔南海〕縣、廣州ニ屬ス、〔尉佗〕姓ハ趙、名ハ佗、本ト龍川ノ尉ト為ル、後ニ南海ノ尉ト為ル、故ニ尉佗ト曰フ、嘗テ自ラ王ヲ僭シ、叛テ服セズ、是ニ至テ之ヲ封ス、遂ニ約ヲ奉スルナリ佗、臣ト称メ漢ノ約ヲ奉ス、賈、歸テ報ス、太中大夫ニ拜セラレ〔太史大夫〕文中大夫賈、時前テ詩書ヲ説ク、帝之ヲ罵テ曰ク、矜公、馬上ニ天下ヲ得タリ、安シソ詩書ヲ事トセント、賈カ曰ク、陛下、馬上ヲ以テ之ヲ得ルトモ、寧シ

書十二篇通鑿
ニ書ノ字ナシ

ソ馬上ヲ以テ、之ヲ治ム可ケンヤ、文
 武並ヒ用ヒ、長久ノ術ナリ、秦ヲメ
 天下ヲ叛キ、仁義ヲ行ヒ、先聖ニ法ラ
 シノハ、陛下、安シク之ヲ有ツヲ得ン
 ト、帝ハ曰ク、試ニ我カ為メニ書ヲ著
 セ、秦ノ失ヲユヘン、吾カ得ルユヘシ、
 及ヒ古ノ成敗ヲト、賈書十二篇ヲ著
 ス、奏スルゴトニ、善ト称ス、号ノ新語
 ト曰フ、高帝、平生未ニ此ノ言ヲ聞カ
 ○淮南王黥布帝ノ韓信ヲ殺シ、彭越
 ヲ、
 見テ、同功一體ノ人ナ

太牢、牛、羊、豕、
 具ルヲ、太牢ト
 曰フ、天、風、云、
 風ハ、帝、自ラ、
 フ、雲ハ、乱ニ、
 フ、ナリ、言ハ、
 テ、ナリ、言ハ、
 故、郷ニ、乱ラ、
 賢、守ル、共ニ、
 之、ヲ、守ル、
 フ、ナリ、
 其、ノ、邑、
 フ、以テ、湯沐、
 フ、費ニ、供ル、
 ナリ

ナルヲ以テ、自ラ禍ノ及ハントテ疑
 テ、遂ニ及ス、帝、自ラ將トメ之ヲ撃ツ
 ○十二年、帝布ヲ破テ還リ、魯ヲ過ク、
 太牢ヲ以テ、孔子ヲ祠ル、沛ヲ過テ置
 酒シ、宗室故人ヲ召テ、飲ス酒酣ニメ
 上自ラ歌テ曰ク、大風起兮雲飛揚、威
 加テ海内ニ兮、
 沛中ノ子弟ヲメ之ヲ習歌セシム、
 沛ヲ以テ湯沐ノ邑ト為ス○初メ戚
 姬戚姫姓姓寵アリ、趙王如意ヲ生ム、呂后呂后疏
 テラル太子仁弱ナリ、上、如意ノ已レ

四皓太子ニ侍スル畵



ニ類スルヲ以テ太子ヲ廢ソ之ヲ立
 テント欲ス、群臣之ヲ争フ、皆ナ得ル
 能ハズ、呂后入ヲメ張良ヲ彊ヒ要メ、
 畫計セシム、良カ曰ク、此レ口舌ヲ以
 テ争ヒ難キナリ、願フニ上ノ致ス能
 ハザル所ノ者、四人アリ、曰ク、東園公
 姓ハ唐、字ハ宣、綺里季夏姓名未タ詳
 明、東園ニ居ル、角里先生姓名ハ周、名ハ術、角
 黄公黄姓ハ角里先生里ニ居ル、以上商
 山ノ上ノ士ヲ侮慢スルヲ以テノ故
 四皓上ノ士ヲ侮慢スルヲ以テノ故
 ニ、山中ニ逃レ匿ル、義漢ノ臣タラズ、
 上、此ノ四人ヲ高シトス、今マ太子ヲ

四皓眉皓白之ヲ
ヘンナリ

ノ、書ヲ為ソテ詞ヲ卑フシ、安車モテ
 固ク請ハ、且シク来ルベシ、至ラハ
 以テ客ト為セヨ、時ニ從ヘテ、入朝シ、
 上ヲノ之ヲ見セシメハ、則チ一助ナ
 リト、呂后、人ヲメ太子ノ書ヲ奉メ、之
 ヲ招カシム、四人至ル、帝、布ヲ撃テ還
 リ、愈太子ヲ勸ヘント欲ス、後ニ置酒
 ス、太子侍ス、良カ招ク所ノ四人ノ者
 從フ、年皆ナ八十餘、鬚眉皓白、衣冠甚
 タ偉ナリ、上、怪テ之ヲ問フ、四人、前テ
 對ス、各姓名ヲ言フ、上、大ニ驚テ曰ク、

義ヲ受ルハ
肯ゼス

吾レ公ヲ求ムル數歳ナリ、公、我ヲ避
逃ス、今何ニ能テカ吾カ見ニ從テ游
フヤト、四人ノ曰ク、陛下ハ、士ヲ輕ン
シ、善ク罵ル、臣等義モテ辱カシメラ
レズ、今マ太子ノ仁孝恭敬ニメ、士ヲ
愛スルヲ聞ク、天下頸ヲ延テ、太子ノ
為メニ死センヲ願ハサルナシ、故ニ
臣等来ルノミ、上ノ曰ク、公ヲ煩ハサ
シ、幸ニ卒ニ太子ヲ調護ヒヨ、四人出
ツ上、戚夫人ヲ召メ、之ヲ指示メ曰ク、
我レ之ヲ殺シト欲スルニ、彼ノ四人

流矢飛矢ヲ流
矢ト曰フ

ノ者、之ヲ輒ク、羽翼已テニ成レリ、動
シ難シト○蕭何、長安ノ地隘クメ、上
林ノ中ニ空地ノ棄レル多キヲ以テ、
民ヲメ入テ田スルヲ得セシメント
請フ長安縣、安上、大ニ怒テ、何ヲ廷尉
ニ下シ、之ヲ械繫ス、數日ニメ之ヲ赦
ス○上、布ヲ擊ツトキ、流矢ニ中タル、
疾ハ甚シ、呂后問ス、陛下百歳ノ後、蕭
相國死セバ、誰カ之ニ代フベキト、曰
ク、曹參、其次ハ曰ク、王陵、然レモ少シ
ク慙ナリ、陳平、以テ之ヲ助ク可シ、平

慙愚直ナリ

〔孝惠〕孝子ハ善ク父ノ志ヲ繼キ善ク父ノ事ヲ述フル者ナリ故ニ漢家ノ謚惠帝ヨリ以テ下皆ナ孝ト稱ス
〔鳩〕鳥ノ羽ヲ以テ酒中ニ画メテ之ヲ飲メハ立ト
〔燿〕燿ニ死ス
〔熏〕熏ニ作ル藥ヲ以テ耳ヲ熏シシタルナリ
〔廁〕廁室ナリ
〔較〕較著明良言ハ法今煩苛ナラズノ其ノ簡要

ハ、智餘アリ、然レモ獨任シ難シ、周勃ハ、重厚ナレモ、文少シ、太尉タラシム可シ、劉氏ヲ安ンゼン者ハ、必ス勃ナラント、復タ其ノ次ヲ問ス上ノ曰ク、此ノ後ハ、亦孱ガ知ル所ニ非ラザルナリト言ハ、復タ之ヲ知ラハ、汝モ亦七〇上崩ス、長陵ニ葬ムル賜長陵地、咸漢王タル者、四年、帝タル者、八年凡テ十二年、太子盈立シ、是ヲ孝惠皇帝ト為ス
〔孝惠皇帝〕名ハ盈、母ハ呂太后、即位ノ元

著明ナル見ル若クナリ漢書ニ講ニ作ル注ニ講ハ和ナリ、画一不整齊ヲ言フナリ

年、呂后、趙王如意ヲ殺シ、戚夫人ノ手足ヲ斷テ、眼ヲ去リ、耳ヲ燿シ、瘡藥ヲ飲マシメ、廁中ニ居カシメ、命メ人疑ト曰フ、帝ヲ召テ之ヲ觀セシム、帝驚テ大ニ哭ス、目テ病ム、歲餘マデ起ツ能ハス〇二年、蕭何卒ス、齊ノ相〔齊〕肥、高帝ノ弟曹參、舍人ヲメ趣メ装ヲ一子ナリ、吾レ且サニ入テ相タラン為サシム、使者果メ參ヲ召ス、何ニ代テ相國トナル、一ニ何カ約束ニ従フ、百姓之ヲ歌テ曰ク、蕭何為法、較若畫一、曹參

載事ナリ一説ニ載ハ行ナリ清淨ハ黄老ノ術ナリ曹參一ニ清淨無為ヲ行テ治ヲ為スヲ謂フナリ

代レ之ニ守テ而勿レ失テ載其清淨民以テ寧一方
リト○五年曹參卒ス○六年王陵右
丞相ト為ル陳平左丞相ト為ル○張
良卒ス○周勃大尉ト為ル○帝在位
七年ニツ崩ス子ナシ呂太后他人ノ
子ヲ取リ以テ太子ト為ス惠帝ノ張
皇后ハ魯
元公主ノ女呂太后其ノ子ナキヲ以
テ身ヲアリト為サシメ後官ノ美人
ノ子ヲ取テ名ツケテ皇后ノ子ト為
シテ其母ヲ殺シ名ツケテ皇后ノ子
立テ、太子ト為ス、即チ少帝ナリ、
伯崇ノ云ク、諸ノ為ス、人元ト呂氏ニ幸
セラレ、懐身ソ宮ニ是ニ至テ位ニ即
入リ子ヲ生ハナリ是ニ至テ位ニ即
ク太后朝ニ臨テ制ヲ稱ス○元年太

刑到ナリ白馬
ルナリ以テ軟

右諸呂ヲ立テ、王ト為サント議ス、王
陵が日久高帝白馬ヲ刑メ、盟テ日久
劉氏ニ非ラスメ、王夕ラハ天下共ニ
之ヲ撃テト、平勃以テ可ナリト為ス
陵相ヲ罷ム、遂ニ呂氏ヲ王トス、詳ニ
通鑑
見ユ記ニ○四年、太后少帝ヲ廢メ、之ヲ
幽シ、殺ス、恒山王義ヲ立テ、帝ト為ス
恒山王義モ、亦後宮美人ノ生所ニメ
呂氏ノ子ナリ、太后計ヲ以テ詐テ之
ヲ名ツケテ、惠帝ヲ殺メ、後宮ニ養フ、
帝崩シ、太后義ヲ襄城候ニ弘ト改名
封シ、後ニ恒山王ト為ス、弘ト改名
ス、亦佗人ノ子ヲ名ツケテ、惠帝ノ子

〔鸞旗〕旗上ニ鈴アルヲ鸞旗ト曰ス、鸞ハ、鈴ヲリ、善行巡狩ヲ謂フ、師行征伐ヲ謂フ

相ト為ル〇時ニ千里ノ馬ヲ獻スル者アリ、帝曰ク、鸞旗前ニアリ、屬車後ニアリ、吉行ニハ日ニ五十里、師行ニハ日ニ三十里、朕千里ノ馬ニ乘リ、獨先ツ安ニカ之ント、是ニ於テ其ノ馬ヲ還シ、道里ノ費ヲ與ス、而ソ詔ヲ下メ曰ク、朕、獻ヲ受ケザルナリ、其レ四方ヲメ來獻スル母レト〇帝益、國家ノ事ヲ明習ス、朝ニ右丞相勃ニ問テ曰ク、天下一歳ノ決獄、幾何ガト、勃知ラズト謝ス、又問一歳錢穀出入幾

何ソト、勃又知ラズト謝ス、惶愧シ汗出テ、背ヲ沾ス、上、左丞相平ニ問ス、平ガ曰ク、主者アリ、即シ決獄ヲ問ハ、廷尉ヲ責メヨ、錢穀ヲ問ハ、治粟内史ヲ責メヨト、治粟内史司上ノ曰ク、君ノ主ドル所ノ者ハ、何事ゾ、平謝メ曰ク、陛下ハ、罪ヲ宰相ニ待タシム、宰相ハ、上天子ヲ佐ケ、陰陽ヲ理シ、四時ヲ順ニシ、下モ万物ノ宜ヲ遂テ、外四夷ヲ鎮撫シ、内百姓ヲ親附シ、卿大夫ヲ各其ノ職ヲ得セシムト、東夷

〔超〕官ニ次アラス
謂フナリコト賜ヲ
ナリ天子ノ出入
必ス先ツ道ヲ
清シ、行入ヲ禁
止ス、出ルニ警
ト称シ、入ルニ
蹕ト言フナリ

西戎、南帝、善シト称ス、勃、大ニ慙ヂ病
ト謝シ、免ス。○河南ノ守〔河南〕府、河吳
公、治平、天下ノ第一タリ〔吳公〕吳ハ、時
人、之ヲ尊称スルノミ、宣帝ノ紀、定國
カ父、干公モ亦此ト同シ、治平ハ、其政
治均平ヲ召メ、廷尉ト為ス、吳公、洛湯ノ
人、賈誼ヲ薦ム、年二十餘、一歲中ニ起
遷メ、大中大夫ト為ル。○陳平卒ス。○
二年、天下ニ今年ノ田租ノ半ヲ賜フ
○三年、張釋之、廷尉ト為ル、上、中渭橋
ヲ行ク〔中渭橋〕一ニ非ラズ、此一人ア
リ、橋下ヨリ走り出ツ、乘輿ノ馬驚ク、

〔當〕其ノ罪ニ処
スルナリ
〔天〕下ノ平〔其〕不
ルナリ

捕テ廷尉ニ屬ス、釋之奏ス、蹕ヲ犯ス、
罰金ニ當セント、上怒ル、釋之曰ク、法
是ノ如シ、更ニ之ヲ重クセハ、是レ法
一民ニ信ナラス、廷尉ハ、天下ノ平ナリ
一タヒ傾カハ、天下法ヲ用ユル皆ナ
之カ為メニ輕重セシ、民安シソ手足
ヲ措クヤト、上、良久ソ曰ク、廷尉ノ
當、是ナリト、其ノ後、入高廟ノ〔狂〕環ヲ
盗ムアリ、捕ヒ得タリ、廷尉ニ下メ、治
ス、釋之奏ス、棄市ニ當スト、上大ニ怒
テ曰ク、人、先帝ノ器ヲ盗ム、吾レ之ヲ

〔杯〕擗ナリ

〔病〕患ナリ

族ニ致サント欲ス、而ルヲ廷尉法ヲ
 以テ之ヲ奏ス、吾カ宗廟ニ供承スル
 ヲヘンノ意ニ非ラザルナリト、擇之
 ガ曰ク、宗廟ノ器ヲ盗ム、而ルヲ之ヲ
 族セハ、假令ハ愚民、長陵一杯ノ土ヲ
 取ラハ、何ヲ以テカ、其レニ法ヲ加ヘ
 ンヤト、高帝ノ墓ヲ、長陵ト曰フ、山陵
 ナス、故ニ土ヲ取ル帝之ヲ許ス、○六
 ナ、淮南厲王長弟高帝ノ謀反ス、廢徙セ
 ラレテ死ス、徙ス、而メ死ス、民之ヲ歌
 フ者アリ、曰ク、一尺布尚、可縫、一斗粟

〔天臣〕絳灌、東陽
 侯、馮敬ノ屬、盡
 ク之ヲ害ス
 〔上疏〕漢書ノ本
 傳ニ載ス

尚、可、春、兄弟二人、不相容、ト言ハ一尺
 テ共ニ衣ル可シ、一斗ノ粟、春テ共
 ニ食フ可シ、况シヤ天下ノ粟、春テ以
 テ、兄弟相容レ、帝、聞テ之ヲ病フ、後チ
 ラレサルヤ、帝、聞テ之ヲ病フ、後チ
 其ノ四子ヲ封メ、侯ト為ス、阜陵侯トメ
 為ス、勃ヲ安陵侯ト為ス、賜ヲ陽周
 侯ト為ス、子良ヲ東城侯ト為ス、
 匈奴ノ冒頓死ス、○是ヨリ先キ上、議
 メ賈誼ヲ以テ、公卿ニ位セシトス、大
 臣多ク之ヲ短ス、上以テ長沙王ノ太
 傅ト為ス、〔長沙〕國、潭州ニアリ、王ハ、是
 為ル者、景帝ノ子、梁王ノ大傅ニ徙
 ニ非ラサルナリ、梁王ノ大傅ニ徙
 ル、〔梁王〕文帝ノ子、上疏メ曰ク、方今ノ

先驅士卒ノ前
 導ヲ先驅ト曰
 節施ヲ以テ之
 重テ竹節ノ如
 シ凡ソ王命ヲ
 以テ往來スル
 ニ必テ節ヲ持
 ス以テ信ト為
 ス繩ヲ按ス其
 轡繩ヲ按ス馬
 ヲ得サシムル
 ルヲ得ラシム

上、獻ヲ受ケテ、嘉ス、是ニ於テ始
 テ更メテ、十七年、平、詐、ヲ以テ、
 シ、平、ヲ以テ、詐、ナリ、ト告ル、
 カ、言フ、所ハ、詐、ナリ、ト告ル、
 遂ニ、平、ヲ誅ス、○後元年、平、詐、
 詔、ノ、平、ヲ誅ス、○後元年、平、詐、
 誅、ニ、伏ス、○六年、匈奴、上郡、雲中、
 ス、雲中郡、山西、屬、將軍、周、亞、夫、詔
 ヲ、今、屯、屯、シ、ム、安、柳、首、長、劉、禮、
 上ニ、欲、ス、徐、厲、棘、門、ニ、次、ス、棘、門、關、中、
 以テ、胡、ニ、備ス、上、自ラ、軍ヲ、勞フ、
 上、及ヒ、棘、門ノ、軍ニ、至ル、直ニ、馳テ、入
 ル、大將以下ノ、騎、送迎ス、已テニシテ
 細柳ニ、之ク、入ラ、得ス、先驅ノ、曰ク、天

上細柳之
 禮ヲ成ス
 之キ



子曰、サニ軍門ニ至ラントス、都尉ノ
 曰ク、軍中ニハ、將軍ノ令ヲ聞ク、天子
 ノ詔ヲ聞カズト、六韜ニ云ク、軍中ノ
 子命モ、日ク、將、軍ニ在レハ、上、乃チ、使ヲ
 使ハシ、節ヲ持シ、將軍、亞夫ニ、詔ス、乃
 チ言ヲ傳ヘ、門ヲ開カシム、門士車騎
 ニ請テ、曰ク、將軍、約スラク、軍中、驅馳
 スルヲ得ズト、上、乃チ、轡ヲ按メ、徐行
 メ、營ニ至ル、礼ヲ成メ去ル、群臣皆ナ
 驚ク、上ノ曰ク、嗟乎、此レ、真ノ將軍ナ
 リ、向者ノ、霸上、棘門ノ、軍ハ、見戲ノ

太祖廟百世
 遷サス、祖ハ始
 ナリ、始テ命フ
 変ルナリ
 太宗ノ廟周ニ
 世室ト曰フ、情
 盡レ尺祧セス
 道基ノ道ナリ
 博魚猶ヲ今ノ
 基磐ト言フカ
 コトキナリ
 削其地ヲ減ス
 ナリ
 亡人亡命ノ人

シク帝者太宗ノ廟ト為スベシト制
 シテ曰ク、可ナリト○帝、太子タル時
 二、鼂錯鼂錯姓名家令ト為ル家令官、皇太
 子ノ飲膳倉
 儲庫蔵ノ政幸ヲ得タリ、太子ノ家号
 ヲ主トル
 シテ知囊ト為ス智囊其ノ智ノ多帝、
 即位シテ、錯内史ト為ル丙史官數間
 ヲ請テ、事ヲ言フス、輒チ聴ク、寵九卿
 ヲ傾ク元卿太常卿ナリ、光録卿ナリ、
 卿ナリ、鴻臚卿ナリ、太府卿ナリ、
 リ、司農卿ナリ、太府卿ナリ、
 へ定ムル所口多シ○初メ孝文ノ時
 二吳王濞ノ太子、入テ見ミ、皇太子

皇太子博局ヲ引テ吳
 ノ太子ヲ堤殺スル焉



ニ侍メ、飲スルヲ得タリ、博ノ道ヲ爭
 ヒ、不恭ナリ、皇太子博局ヲ引テ、之ヲ
 提殺ス、漢疾ト称メ、朝セズ、錯數吳ノ
 過削ル可シト言フ、文帝忍ビズ、帝ノ
 位ニ即クニ及ンテ、錯カ曰ク、吳王天
 下ノ亡人ヲ誘テ、乱ヲ作スヲ謀ル、今
 マ之ヲ削ルモ亦反セシ、削ラザルモ
 亦反セシ、之ヲ削ラハ、反スル患ニシ、
 禍小ナラン、削ラズンハ、反スル患、
 禍大ナラント、上、公卿列侯宗室ヲソ
 雜議セシム、敢テ難スルナシ、鼂錯、又

同產兄弟ナリ

袁盎吳ノ相

忤逆ナリ

及シテ、亞夫ヲ太尉ニ拜因、三十六將
 軍ニ將トシ、往テ吳楚ヲ擊ツ。將三
 未タ詳カ、龜錯、蘇ヨ以袁盎ト善カ
 大テ、袁言久、獨錯ヲ斬テ、諸侯ノ故地
 不、益言久、獨錯ヲ斬テ、諸侯ノ故地
 復スル有ラハ、兵刃ニ血ヌルカ、力
 罷ム可ケント、錯、是ニ於テ、東市ニ腰
 斬セラシ、父母妻子同產少長トシ、
 皆ナ棄市セラシ、周亞夫、大ニ吳楚
 破ル、諸反皆ナ平久、亞夫後子相ト為
 以、條侯ニ封セラシ、屬ス、勃海、
 テ上ノ意ニ忤ス、罷シ、元、以太子
 上ノ意ニ忤ス、罷シ、元、以太子

快志満タサルナリ

歐吐ナリ

ス、亞夫、固ク争フ、得ス、竇太后、皇后ノ
 兄王信ヲ以テ侯ト為サント欲スル
 ニ及ンテ、亞夫諫テ、其事ヲ沮ム、後チ
 向奴ノ王徐、盧等降ス、上之ヲ侯トセ
 ス、遂ニ病ヲ亞夫謝シ、相ヲ免ス、上曰、
 快ヤトメ少主ノ臣ニ非スト、卒ニ人
 ノ為メニ誣告セラレテ、獄ニ下リ、血
 ヲ歐テ死ス、官ノ器ヲ盗ミ買フ、亞夫、
 連汚ハ、廷尉死ス、入○漢興テヨリ、繁苛
 フ掃除シ、民ト休息ス、孝父加ルニ恭
 儉ヲ以テス、帝ノ業ニ遵フニ及ンテ、
 五六十載ノ間、風ヲ移シ、俗ヲ易ス、黎
 民醇厚ニメ、國家無事ナリ、人給リ、家

鄱郷村ナリ、泛
ク都ニ對シテ言
フナリ、廩屋ニ
アル野ニ在ル
庚ト曰フ京ハ
師京ハ、大師ハ
衆ナリ、年ヲ
陳旨ナリ、露積
米ト曰フ露積
庚ヲ露積ト曰フ
法ヲ犯スヲ重
ニ法ヲ犯テ輕易
網疏ノ如シ、網
疏ノ如シ、網疏
兼并ノ徒、豪富
ノ民ヲ謂フナ
リ、郷曲ノ里ナ
リ、武斷其ノ富

足ル、都鄙廩庾、皆ヲ滿シ、而シテ府庫賞
財ヲ餘ス、京師ノ錢鉅万ヲ累ス、饋
テ校ス可ラズ、太倉ノ粟陳々相目ル、
充溢ノ外ニ露積シ、紅腐ノ勝テ食フ
可ラス、吏ト為ル者ハ子孫ヲ長ス、是
時無事ニ吏トナル者ハ長生官ニ
ノ職ヲ轉セサルニ至ルナリ、官名ヲ以
居ル者ハ以テ姓号ト為ス、倉庫氏ト以
謂フス、故ニ倉氏庫氏アリ、倉庫氏ノ
後ナリ、人々自ラ愛メ、法ヲ犯スヲ重
ズ、然レテ網疏ニ、民富ム、或ハ驕溢ニ至
ル、兼并スルノ徒、郷曲ニ武斷ス、宗室

饒ヲ特メ、行ハ、則
ナ威一ノ説ニ、郷
ナ豪富ノ位ナ
ク、曲直ヲ勢ヲ以
テ、曲直ト曰フ、故
ニ武斷ト曰フ、故
有三分土ナリ

有土、公郷以下、奢侈度ナシ、物盛ニシ
衰ルハ、固ヨリ其ノ變ナリ、是ヨリ内
ニ侈靡ヲ窮メ、外夷狄ヲ獲、帝崩ス、在
位一十七年、中元後元アリ、太子立ツ、
是ヲ世宗孝武皇帝ト為ス

孝武皇帝名ハ徹、即位ノ元年、始テ改元
シ、建元ト曰フ、年ニ号アル此ヨリ始
マル、賢良方正、直言極諫ノ士ヲ舉
ク、親ラ之ヲ策問ス、廣川董仲舒、廣川
州ニ對テ曰ク、事ハ強勉ニ在ルノミ
屬ス、強勉ノ學問スレバ、則チ聞見博ク、智

奸犯ナリ

〔種〕多ナリ生ナ

益明ナリ、強勉ノ道ヲ行ヘハ、則チ徳
 日ニ起ル、而シテ大功アリ、又曰ク人君
 ハ心ヲ正メ、以テ朝廷ヲ正ス、朝廷ヲ
 正メ以テ百官ヲ正ス、百官ヲ正メ、以
 テ万民ヲ正ス、万民ヲ正メ以テ四方
 ヲ正ス、四方正メ、遠近正ニ一ナラサ
 ルナシ、而シテ邪氣ノ其間ニ奸スル無
 シ、是ヲ以テ、陰陽調ヒ、風雨時アリ、群
 生和シ、万民殖ス、諸福ノ物、之ヲ致ス
 可シ、祥畢ク至ラザルナシ、而シテ王道
 終フ、陛下、行高メ、恩厚シ、知明ニメ、意

天学天子ノ学
 ヲ、太学ト曰ス、
 即チ国子監ナ

羨ナリ、民ヲ愛メ、士ヲ好ム、然レテ教
 化立タス、万民正カラス、譬ヘハ琴瑟
 ノ調ハサル、甚シキ者ヲ、ハ、必ス解テ、
 之ヲ更メ張テ、乃チ鼓ス可キナリ、政
 ヲ為メ行レザル、甚シキ者ヲハ必ス
 變メ之ヲ更メ化メ、乃チ理ス可キナ
 リ、漢、天下ヲ得テヨリ以來、常ニ治ヲ
 欲ス、而レテ今ニ至テ、善ク治ム可ラ
 サル者ハ、當サニ更メ化スベキヲ而
 モ更メ化セサルナリ、又曰ク、士ヲ養
 フハ、太學ヨリ大ナルハナシ、太學ハ、

卷 頭

史記卷之三

西漢武帝

壘

〔一統〕春秋ニ書
王ノ正月ト書
スルナリ言ハ
王者始テ命ヲ
受テ制ラ改ム
以テ天下ヲ統
ス万物ヲ一統
承奉セザレナ
シ以テ始ト為
ス故ニ一統ヲ
大ニスト言フ
〔六藝〕易、礼、樂、詩、書、春秋

賢士ノ關カレ所ナリ、教化ノ本原ナ
リ、願クハ、太學ヲ興シ、明師ヲ置テ、以
テ天下ノ士ヲ養ハシ、又曰ク、郡守縣
令ハ、民ノ師帥ナリ、承流メ宣化セシ
ムル所ナリ、宜ク列侯郡守ヲメ、各其
ノ吏民ノ賢ナル者ヲ擢テ、歲コトニ
各三人ヲ貢セシムヘシ、又曰ク、春秋
一統ヲ大ニスル者ハ、天地ノ常經、古
今ノ通誼ナリ、今師ユトニ道ヲ異ニ
シ、人論ヲ異ニス、是ヲ以テ、上以テ一
統ヲ持スルナシ、法制數變メ、下守ル

〔一統〕春秋ニ書
王ノ正月ト書
スルナリ言ハ
王者始テ命ヲ
受テ制ラ改ム
以テ天下ヲ統
ス万物ヲ一統
承奉セザレナ
シ以テ始ト為
ス故ニ一統ヲ
大ニスト言フ
〔六藝〕易、礼、樂、詩、書、春秋

所ヲ知ラス、臣愚以為ラク、諸ノ六藝
ノ科、孔子ノ術ニ在ラザル者ハ、皆ナ
其ノ道ヲ絶チ、然レ後ニ統紀一ナル
可シ、法度明ナル可シ、而シテ民從フ所
ヲ知ラント、上、其ノ對ヲ善メ、以テ江
都ノ相ト為ス〔江都國ハ、揚州ニアリ、
リナ〕上、使者ヲ使シテ、安車蒲輪、束帛
加璧ヲ奉メ、魯ノ申公ヲ迎ス、既ニ至
ル、治乱ノ事ヲ問フ、公、年八十餘、對テ
曰ク、治ヲ為スハ多言ニ在ラス、力行
何如ント、顧ルノミト、〇三年、閩越、福

微行 更ニ微賤
ノ服ヲ為シテ
行ト謂フ之ヲ微

巧癸奇中巧
詭異ノ言ヲ出
シテ事ト傳會
ス物ヲ致シテ
或ハ藥物或ハ
見物或ハ祥瑞
ノ物丹砂藥名
亦朱砂ト曰ス
辰州等ノ処ト
中ニ生ズ大ナ
ル者ハ雞子ノ
如シ小ナル者
ハ石描ノ如シ
精神ヲ養ヒ竟
魄ヲ安スルヲ
主ト云ク丹鍊
真經ニ云ク丹

砂之ヲ鍊ル一
返メ白銀ト為
ル一返メ黄金
ト為ル

建ニアリ其ノ君、嘗テ百越ヲ封ス、東
以テ高帝ヲ助ク、東海王ニ封ス、東
既ヲ擊ツ、東國ニ使ヲ遣ハシ、兵ヲ
癸メ、之ヲ救フ、其衆ヲ江淮ノ間ニ徙
ス、○帝始テ微行ヲ為ス、上林苑ヲ立
ツ、初メ、漢、嘗テ民ヲ入テ彫ルヲ
得セシ、漢、嘗テ民ヲ入テ彫ルヲ
五年、五經博士ヲ置ク、五經博士、秋
ル、五經博士ヲ置ク、五經博士、秋
恢等ヲ遣ハシテ、之ヲ擊クシム、閩越
元、南越、○元光、元年、初テ郡國ニ令メ、
孝廉各一人ヲ舉ク、○二年、方士李少卿
君上ニ見テ、善ク巧癸奇中ヲ為ス、言

ク竈ヲ祠レハ、則チ物ヲ致サン、而ソ
丹沙化シ、黄金ト為ルヘシ、蓬萊ノ仙
者、見ルヘシ、之ヲ見テ、封禪スレハ、則
チ死セスト、上、之ヲ信ス、始テ親ヲ竈
ヲ祠ル、方士ヲ遣ハシ、海ニ入テ蓬萊
ノ安期生ノ屬ヲ求メシム、安期生、蓬萊
ノ海邊ニ賣ル、時ノ海北ノ燕齊ノ迂
人皆ナク、多ク更來テ、神事ヲ言フ、○上、
怪ノ士、多ク更來テ、神事ヲ言フ、○上、
大行、今ノ礼ニ、大行人、小行人、即チ王恢
ノ議ヲ用ヒ、恢等ヲ遣ハシ、兵ニ將ト
メ、馬邑ノ旁谷中ニ匿テ、陰ニ聳壘ヲ

總テ上計ヲ謂
テ計借ト為ス
待詔諸才技ヲ
以テ召サレ未
夕正官アラズ
故ニ待詔ト曰
商車ヲ筭ス商
賈車船ノ稅ヲ
美ス

和スレハ、則チ形和ス、形和スレハ、則
チ色和ス、色和スレハ、則チ天地ノ和
應ス、策奏ス、擢テ、第一ト為ス、金馬
門ニ待詔ス、〔金馬門〕官者ノ署、武帝大
像ヲ鑄テ、署ト為ス、齊人轅固、
九十餘、亦賢良ヲ以テ徵ス、弘、目ヲ
テ之ニ事フ、固カ曰ク、公孫子、正學ヲ
務メ、以テ學ヲ曲ク、以テ世ニアルナ
シト言フ、〇六年、初テ商車ヲ筭ス、
横歛、此ニ始ラズ、是、〇匈奴上谷ニ寇
ス、將軍衛青等ヲ遣メ、之ヲ擊チ、卻ク

〇元朔元年、主父偃〔主父〕姓上書メ、匈奴
ヲ伐ヲ諫ム、嚴安〔嚴安〕モ亦上書ス、及ヒ徐
樂〔樂〕モ亦上書メ云ク、陛下、何ヲ威メ成
ラサル、何ヲ征メ服セサルト、書奏ス、
上召シ見テ曰ク、公等皆ナ安ニ力在
ル、何ソ相見ノ晚キヤト、皆ナ郎中ニ
拜ス、是ノ秋、匈奴入寇ス、二年、又入寇
ス、衛青等ヲ遣ハメ、之ヲ擊ツ、遂ニ河
南ノ地ヲ取り、朔方ノ郡ヲ置ク、〔朔方〕
二属ス、今ノ夏州、一説ニ、朔方ハ、河
ノ地、長城ノ北ニアリ、後世ノ謂ニル
套河〇五年、公孫弘、丞相ト為ル、平津侯

開東門之ヲ開
當此門
賓客ヲ
引以テ
官屬ヲ
別ニス

二封セララル平建邑、霸上方サニ功業
ヲ興ス弘、是ニ於テ、東閣ヲ開キ、以テ
賢人ヲ延夕○匈奴、胡方ニ寇ス、衛青
ヲ遣ハメ、六將軍ヲ率テ之ヲ撃ツ〔六
軍〕〔李蔡、李息、張次公、孫賀、還ル通鑑ニ、裨王
李蔡、李息、張次公、孫賀、還ル通鑑ニ、裨王
十、百、萬、千、餘、畜、得、爾、青、ヲ、以、テ、大、將、軍、ト、為、
ス○匈奴、代ニ入ル○六年春、衛青等
六將軍ヲ遣ハメ、匈奴ヲ撃タシム〔六
軍〕〔六將軍、衛青、中將軍、公孫敖、左將軍
公孫賀、前將軍、趙信、右將軍、蘇建、後將軍
將軍、李廣、強弩、夏再ヒ遣ス○元狩元年、博望
侯張騫ヲ遣ハメ、西域ニ使ス、漢國ニ



衛青等大軍ヲ以テ
匈奴ヲ撃ツ

二通ス〔漢〕國、西夷ニアリ、本ト楚ノ
張騫、言フ、月氏ヨリ、善馬多シ、大夏、
大夏、誠ニ安息ノ屬、皆ナ大國ニ、夏、
シ、廣シムル義ヲ以テ、之ヲ屬セ、
サ、ハ、威、德、ヲ、四、海、ニ、徧、譯、カ、
然、カ、騫、西、南、夷、ニ、以、テ、復、タ、
乃、チ、病、ヲ、以、テ、驃、騎、將、軍、ト、為、ス〔驃
去、病、ヲ、以、テ、驃、騎、將、軍、ト、為、ス〔驃
三、品、匈、奴、ヲ、撃、ツ、敗、ル、馬、支、祁、連、山、ヲ、
テ、還、ル、支、支、八、山、ノ、名、甘、州、刪、丹、
南、五、連、山、即、チ、天、山、○匈奴、
五、屬、國、ヲ、置、テ、以、テ、其、ノ、衆、ヲ、
故、國、俗、ニ、目、衆、テ、五、屬、國、ト、
西漢武帝 五

西漢武帝 五

匈奴、右北平、定襄ニ入ル〔右北平〕郡、今
 匈奴、平涼府〔定襄〕郡、山西ニ屬ス、今ノ
 州、一説ニ、定襄當サニ定西ニ作ルハ、
 シ、州ノ名ナリ、○四年、衛青、霍去病ヲ
 亦鞏昌ニ屬ス、○四年、衛青、霍去病ヲ
 遣ハメ、匈奴ヲ撃タシム、去病、狼居胥
 山ヲ封シ、姑行ニ禪〔狼居胥山〕北荒ノ地ニ
 シ、封シ、姑行ニ禪〔狼居胥山〕北荒ノ地ニ
 成、將軍李少翁ヲ以テ誅セラシメ、初
 少翁、上ニ勸メテ、甘泉宮ヲ作ラシメ、
 テ、祭具ヲ置キ、以テ天神ヲ致スト、居
 ラル歳餘ニ伏ス神至○西域始テ通ス、酒
 泉武威郡ヲ置ク〔酒泉〕甘肅ニ屬ス、今
 甘肅永昌府ス、○五年、將軍路博德等ヲ
 今ノ

遣ハメ、南越ヲ撃タシム○方士五、利
 將軍欒大、詐ヲ以テ誅セラシメ、
 將軍ト師ヲ封シ、武帝ニ見ヘテ、神
 ノ事ヲ言フ、賜フ、封ノ樂通候ト為ス、
 甲第ヲ賜フ、僮千人、乘輿、馬、帷帳
 器物、以テ其ノ家ニ充テ、衛長公主ヲ
 以テ之ニ妻ハス、齋金、万斤、其邑ヲ更
 メテ、ツケテ、當利公主ト曰フ、後チ詐
 ヲ以テ誅ス、○六年、西羌ヲ討テ、之ヲ平
 ク、州以西皆ナリ、岷、洮等ノ○南越
 平、九郡ヲ置ク〔元〕郡、南海、蒼梧、鬱林、
 珠厓、○元封元年、帝、長城ヲ出テ、單于
 僂耳、○元封元年、帝、長城ヲ出テ、單于
 臺ニ登ル〔單于臺〕單于ノ築ク所、使ヲ
 遣ハメ、單于ニ告テ曰ク、南越王ノ頭、

〔誓〕氣ヲ失テ而
メ言フ又懼ル
ナリ

已テニ漢ノ北關ノ下ニ懸レリ未央
宮ノ北關ナリ未央殿ハ南ニ嚮フト
雖モ東門東關ハ北關ノ西南ノ今單于能ク
又東門東關ハ北關ノ西南ノ今單于能ク
西面ニ至テハ門關ナシ今單于能ク
戰ハ天子自ラ將トシ邊ニ待ツト
能ハス語アリ匈奴遂ニ警ル臣伏
緱氏ニ如ク或人云フ即十登封縣
中嶽ニ登ル〔中嶽〕嵩山河南府遂ニ海
上ニ東巡シ神仙ヲ求ム泰山ヲ封シ
肅然ニ禪シ復タ東北ノ碣石ニ至テ
還ル〔肅然〕泰山ノ下小山〔碣石〕山平
○漢王降ル益州郡ヲ置ク屬四川今

〔歲道〕夏正ヲ用
ユルナリ

都府成 ○三年樓蘭ヲ擊ツ其ノ王ヲ虜
ニス車師ヲ擊テ之ヲ破ル〔樓蘭車師〕
リ ○朝鮮降スニ遼東樂浪臨屯玄菟
真番郡ヲ置ク ○匈奴邊ニ寇ス兵ヲ
遣ハノ朔方ニ屯ス ○五年南ノ方江
漢ヲ巡リ泰山ニ至テ封ヲ増ス ○六
年昆明ヲ擊ツ西夷ノ種名漢池
ニ於テ昆明池ヲ作り水戰 ○太初元
年帝泰山ニ如ク十一月甲子朔旦冬
至ナリ太初曆ヲ作り正月ヲ以テ歲
首ト為ス ○李廣利ヲ遣ハノ大宛ヲ

城障漢ノ制ニ毎
塞要処、別ニ城
ヲ築キ、人ヲ置
テ之ヲ守ル、之
ヲ侯城ト曰フ、
即チ障ナリ、
〔天塞〕舊ト米粟
ノ大塞ニノ空
キ者
〔天塞〕舊ト米粟
ノ大塞ニノ空
キ者
ト曰ス、牡羊ヲ、
育ナリ、牝ニソ
乳スルヲ待テ、
乃チ武ヲ歎メ、
婦スヲ謂フ、猶
ヲ秦ノ馬ノ角
ヲ生スルヲ待
ス、燕丹ヲ歎
ト言カコトキ
ナリ

伐ツ、克タス、天宛國、西○趙破奴ヲ遣
ハス、匈奴ヲ撃タシム、敗没ス○三年、
匈奴、大ニ入テ塞外ノ城障ヲ破ル○
大ニ兵ヲ發メ、李廣利ニ從ヘ、宛ヲ伐
シ、宛降ス、善馬數十匹ヲ得タリ、漢ノ
城ニ入リ、匿シテ肯テ与ヘスト、漢ノ
子龍姫李氏ヲ侯トセシメ、欲ス、乃チ
李夫人ノ兄廣利ヲ拜シ、貳師將トシ、
為シ、以テ宛ヲ伐ル、善馬數十疋ヲ得
寡ヲ殺メ、以テ降ル、善馬數十疋ヲ得
海、廣利ト封ス、○四年、匈奴單于、使
ノ来リ獻セシム○天漢元年、中郎將
蘇武ヲ遣ハシ、匈奴ニ使ス、單于之ヲ

蘇武大塞中ニ幽
フル番



降サント欲シ、武ヲ幽メ、大塞中ニ置
キ、絶テ飲食セシメス、武、雪ト糞毛ト
ヲ齧テ、共セテ之ヲ咽ミ、数日死セス、
匈奴、以テ神ト為シ、武ヲ北海上ノ人
ナキ處ニ徙シ、牝ヲ牧ハシム、日久、牝
乳セハ、乃チ歸ヲ得セシメ、○二
年、李廣利ヲ遣ハシ、匈奴ヲ撃タシム、
別將李陵、敗テ虜ニ降ス、〔李陵〕前將
上、法制ヲ以テ、下ヲ御ス、好テ酷吏ヲ
專用ス、東方ニ盜賊滋ク起ル、指直使
者ヲ遣ハシ、〔指直〕使者官、姦宛ヲ察
スルヲ掌トシ、即チ今ノ

〔繡衣〕ヲ衣也之ヲ尊寵スルナリ〔斧〕ヲ持ツ專斷ヲ得ルナリ〔三千石〕太守ノ祿二千石〔巫蠱〕巫ハ、左道ヲ執テ、以テ政ヲ乱ス、人ヲ惑ハス、蠱ハ、惑ナリ、体ヲ指テ、藥ヲ毒ヲ即ケテ、人ヲ害ス、是レ行符厭俗ノ魅タ行ル若ク、故ニ巫蠱ト曰フ

提刑使 繡衣ヲ衣テ、斧ヲ持シ、督捕ノナリ 〔繡衣〕ヲ衣テ、斧ヲ持シ、督捕ノナリ
 二千石以下ヲ斬ルヲ得セシム ○四年、李廣利、匈奴ヲ撃ツ、利アラヌ ○太始三年、帝、瑯琊ニ東巡シ、海ニ浮テ還ル 瑯琊郡、山東ニ在リ ○四年、東巡シ、明堂ヲ祀ル、封禪ヲ修ス、明堂泰山ニ在リ、諸侯ヲ朝 ○征和二年、巫蠱ノ事作ル、帝、甘泉ニ如テ、江充ヲ以テ使者ト為シ、巫蠱ノ獄ヲ治メシム 〔甘泉〕宮ハ、鄠縣ニ在リ
 太子ノ宮ヲ掘テ云ク、木人ヲ得ル、尤モ多シト 初、方士及ヒ諸神巫、多ク京師ニ聚ル、率テ皆ナ左道

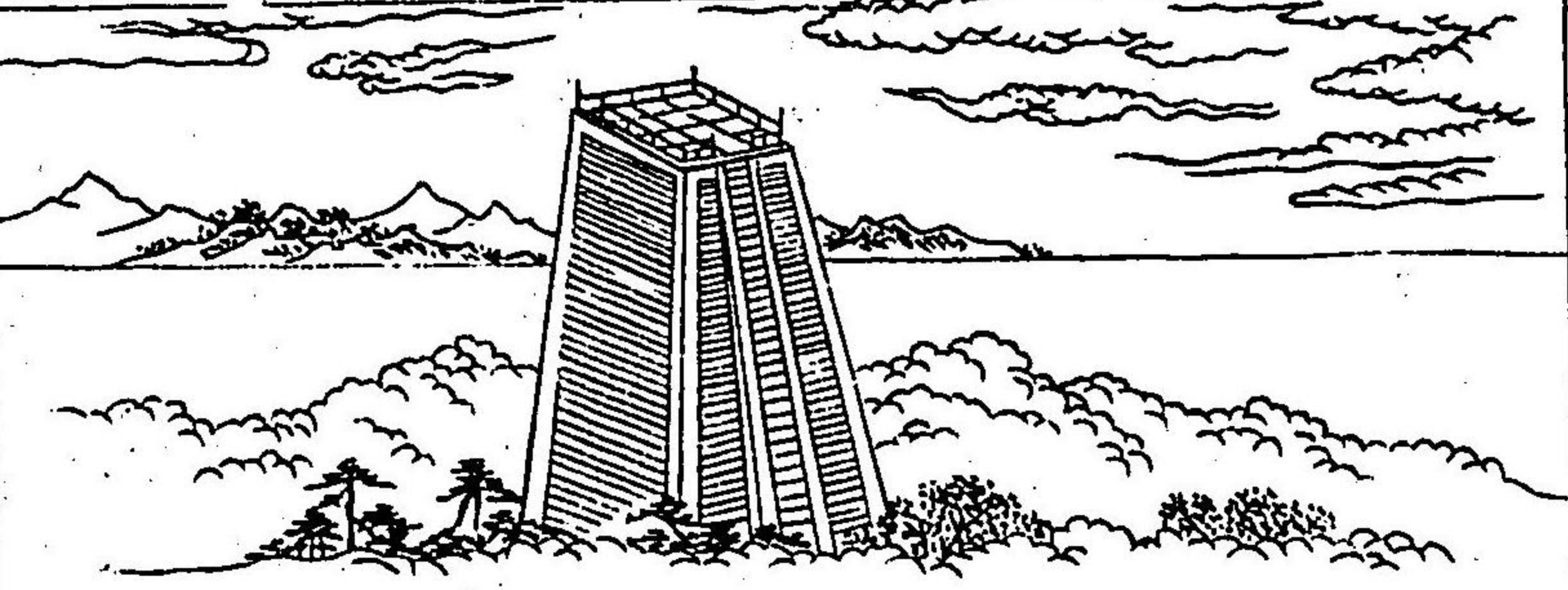
〔中庭〕内庭ナリ 制ヲ矯ル詐テ制詔ヲ作ル

シ、衆ヲ惑シ、変幼ス、女巫、宮中ニ往來シ、羨人ヲノ、厄ヲ度セシムト、屋コトニ輒チ木人ヲ埋メ、之ヲ祭ス、是ニ至テ、武帝、晝寢ス、夢ニ木人教キ、杖ヲ持チ、帝ヲ撃ツ、帝驚キ、悟ル、太子據懼ル、據ニ名客ヲシ、伴テ使者ト為シ、充ヲ収捕メ、之ヲ斬ル、母衛皇后ニ白シ、中庭ノ車ヲ癸シ、射士ヲ載セ、武庫ノ兵ヲ出シ、長樂宮ノ衛卒ヲ癸ス、上、甘泉ヨリ来リ、詔メ三輔ノ兵ヲ癸ス 〔三輔〕北、扶風、馮翊ヲ以テ丞相劉屈氂之ニ將テ、三輔トナス
 夕リ、太子モ亦制ヲ矯テ、兵ヲ癸シ、丞相カ軍ニ逢フ兵合戦スル、五日、死ス

歸來望思ノ臺
言ハ、巳レ望テ
之ヲ思フ、疾ク
ハ、太子ノ魂帰
来セシヲ帰ナ

ル者数万、皇后自殺ス、太子亡ク、湖ニ
至テ自經シ、死ス、〔朔〕縣本ト京兆ニ属
ス、後チ高廟ノ寢郎〔寢郎〕官、高帝ノ田
千秣ト云フ者アリ、上書メ言ク、白頭
アリ、臣ニ教テ云ク、子、父ノ兵ヲ弄ス、
罪當サニ答ヘシト、上、悟テ曰ク、此レ
高廟ノ神靈、我ニ告ルナリ、太子ノ罪
ナキヲ知ルト、歸來望思ノ臺ヲ湖ニ
作ル、天下聞テ之ヲ悲ム、〇三年、匈奴
五原、酒泉ニ寇ス、属ス、今ノ豊州、李廣
利ヲ遣ハシ、之ヲ撃ツ、廣利匈奴ニ降

歸來望思ノ臺ヲ湖ニ作ル



ル、〇四年、方士ノ神人ヲ獲スル者ヲ
嚴〔嚴〕田千秣曰ク、方士神仙ヲ言フ者
フ、皆ナク、嚴〔嚴〕斥〔斥〕之ヲ遣ラシト、上、臣請
ク、鴻臚官ノ言、是ナリト、是ニ於テ、悉
ク方士者ヲ嚴ム、〇田千秣又以テ、相
ト為ス、富民侯ニ封ス、輪臺屯田ヲ議
スルヲ嚴ム、詔ヲ下シ、深ク既往ノ悔
ヲ陳フ、〔輪臺〕西域ノ國、名、支渠梨國
欲ス、〇後元二年、上、五柞宮ニ幸ス、
宮〔宮〕扶風、縣ニアリ、五柞、病、薦シ、霍
光ヲ以テ、大司馬、大將軍、為ス、遺詔ヲ
受ケテ、太子ヲ輔ク、上、在位五十四年、

卷之三

十八史畧譯解卷三

西漢武帝 六十二

九世ノ祖襄公
 嘗テ紀侯ノ為
 ノニ諸セラレ
 テ周ニ戮セラ
 ル襄公八年ニ
 至テ遂ニ紀ヲ
 伐テ之ヲ復ス
 幕南云々沙漠
 ノ南、匈奴ノ
 庭ナシ

改元スル者十有一曰、建元、元光、元
 朔、元狩、元鼎、元封、太初、天漢、大始、征和、
 後元、上、雄材大畧、文景豐富、後ヲ受
 テ、武事ヲ窮極ス、嘗テ謂フ、高帝、平城
 ノ憂ヲ遺ス、齊ノ襄公九世ノ讐ヲ復
 スルカ如キヲ思フト、數匈奴ヲ征シ、
 漢ノ兵勢ヲ盡ス、匈奴、遠ク遁ク、幕南
 ニ王庭ナシ、地ヲ斥キ郡縣ヲ立テ、受
 降城ヲ置ク、匈奴ノ來降ヲ受クルノ
 リ、東、受降城ハ、本ト取ル、東、中、三、城、
 東、北、八、里、ニ、ア、リ、本、ト、雲、中、郡、榆、林、縣、
 西、受、降、城、ハ、豐、州、ノ、元、ハ、振、武、軍、二、屬、ス、
 リ、今、ノ、降、城、ハ、德、軍、此、ノ、城、ヲ、北、理、ス、中、受、降、

園拱ヲ合ス
 園ト曰フ甘泉宮
 仙人掌ハ玉盃
 アリ、祐ト云フ
 通天臺ノ上ニ
 仙人掌ハ玉盃
 フ、擊テ以テ雲
 表ノ露ヲ取ル
 玉屑ヲ和シ之
 フ飲ム、長生ス
 可シト謂フ、名
 蜚燕神禽ノ名
 其ノ像ヲ館上
 ニ置クヲ謂フ
 金莖即チ承露
 ノ莖

城ハ榆林ニアリ、西域ニ通シ、西南夷
 即チ五原ナリ、西域ニ通シ、西南夷
 一通シ、東ノ方、朝鮮ヲ擊テ、南ノ方、粵
 ヲ伐シ、軍旅歳コトニ起ル、内ニハ土
 木ヲ事トシ、上苑ヲ築キ、南山ニ屬ス、
 柏梁臺ヲ建テ、承露銅盤ヲ作ル、高、二
 十丈、大サ七圍、柏梁臺、長安城、北、關、ノ
 柏ヲ以テ、梁ヲ為ク、上ニ仙人ノ掌
 アリ、方士公孫卿、神仙樓居ヲ好ムト
 言ヲ以テ、蜚燕、挂館、天莖臺ヲ作り、首
 山宮ヲ作り、建章宮ヲ作ル、
 山宮ヲ作り、建章宮ヲ作ル、
 一、二、云フ、龍首山ハ、關中ニ屬ス、
 フ、其下ニ作ル、曰ク、名ツク、建章宮、安

武侯爵級武
功ノ爵其ノ級
十七初ノ一級
ハ錢十ノ萬此
ヨリ以テ上ノ級
トニソ増ス凡
テ直ヒ三千餘
万金

西リ千門万户東ハ瀛洲西ハ瓠圃北
ハ大液池中ニ漸臺蓬萊方丈瀛州壺
梁アリ〔漸臺〕水出テ漸南ハ玉堂壁門
〔壁門〕玉ヲ以テ飾ト為ス神明臺ヲ立
故ニ壁門ト曰フナリ以下此ニ至明光
ツル神明臺〔神明臺〕閣ヨリ以テ至明光
官ヲ作ル〔明光宮〕安リ皆ナ侈靡ヲ極ム
教巡幸ノ祠祀ヲ崇シ封禪ヲ修ス國
用給ヤス武功ノ爵級ヲ賣リ鹿皮ノ
幣白金ヲ造ル是ノ時禁苑ニ白鹿
乃チ白鹿ノ皮幣ト為ス直ヒ十萬ニ
績ヲ以テ朝覲聘享ニ必ス直ヒ十萬
侯宗室朝覲聘享ニ必ス直ヒ十萬
璧ヲ薦テ而後ニ行バル幣ヲ以テ得
又銀者其ノ造テハ白金ノ直ヒ三百
ナ者其ハ馬直ヒ五百桑弘羊孔僅
ナ者其ハ馬直ヒ五百桑弘羊孔僅
均輸中丞大農令ト為ル穀貨ヲ掌ト農
ノ徒孔僅大農令ト為ル穀貨ヲ掌ト農
均輸平準ノ法ヲ作ル〔均輸〕官ハ大農
其ノ地價ノ有賤者酌ヲ以テ均平シ
輸送均輸ト曰フ〔輸送〕官ハ大農
之ヲ均輸ト曰フ〔均輸〕官ハ大農
屬下ノ令丞輸ト曰フ〔均輸〕官ハ大農
天貨ノ委輸アリ〔委輸〕官ハ大農
ノ賤物ハ籠メテ貴クハ即チ富商大賈
ヲ利ハルヲ牟ム所ナリ買フモノ物騰
踊スルヲ平準ト曰フ〔平準〕官ハ大農
費ヲ佐久塩官ヲ置ク〔鹽官〕推スル務ヲ管

〔佐助〕ナリ

又銀者其ノ造テハ白金ノ直ヒ三百
ナ者其ハ馬直ヒ五百桑弘羊孔僅
ナ者其ハ馬直ヒ五百桑弘羊孔僅
均輸中丞大農令ト為ル穀貨ヲ掌ト農
ノ徒孔僅大農令ト為ル穀貨ヲ掌ト農
均輸平準ノ法ヲ作ル〔均輸〕官ハ大農
其ノ地價ノ有賤者酌ヲ以テ均平シ
輸送均輸ト曰フ〔輸送〕官ハ大農
之ヲ均輸ト曰フ〔均輸〕官ハ大農
屬下ノ令丞輸ト曰フ〔均輸〕官ハ大農
天貨ノ委輸アリ〔委輸〕官ハ大農
ノ賤物ハ籠メテ貴クハ即チ富商大賈
ヲ利ハルヲ牟ム所ナリ買フモノ物騰
踊スルヲ平準ト曰フ〔平準〕官ハ大農
費ヲ佐久塩官ヲ置ク〔鹽官〕推スル務ヲ管

卷頭

史記卷之三

西漢武帝 空

除官ヲ授クルナリ、蓋シ田蚡ノ權ヲ除シ、吾モ亦吏トシ、蓋シ田蚡ノ權ヲ除シ、吾モ亦吏トシ、...

主ト舟車婚錢ヲ箕ス、商車ヲ箕ス、是ニ至テ、庶民天下蕭然、夕リ、末年盜起ル、輪臺ノ一詔ナカツモハ、漢幾ント...

汲黯閣内ニ卧ル



レ涕泣ノ肯テ拜セサルニ至ル、亦卒ニ罪ヲ以テ死ス、酷吏張湯、趙禹、杜周、義縱、王温舒、徒皆ナ嘗テ刑法ヲ峻用ス、然ノ湯等罪アレハ、亦夕貸サ、...

云、此猶ヲ此ノ
 如ク、此ノ如ク
 ト言カコトシ
 社稷ノ臣國ト
 休戚ヲ同フス
 ルノ臣
 蒙ヲ癸ク物上
 ノ蒙ヲ癸ク直
 ニ其ノ物ヲ取
 ルカ如キナリ
 過ヲ補ヒ遺ヲ
 拾フ其ノ過失
 ヲ補ヒ其ノ遺
 缺ヲ拾フ

嘗テ曰ク、吾云々セント欲スト、黯力
 曰ク、陛下内多欲ニノ、外仁義ヲ施ス、
 奈何ソ唐虞ハ治ニ效ハシト、欲スヤ
 ト上、怒テ朝ヲ罷ム、曰ク甚シ黯ノ、
 ナルヤト、他日又曰ク、古ニ社稷ノ臣
 アリ、黯之レニ近シト、淮南王安淮南厲王
 長ノ子、文帝六年ニ國廢ス、及ノ謀ル、
 十六年ニ、安繼キ封セラレル、
 曰ク、漢廷ノ大臣、獨、汲黯直諫ヲ好ミ、
 節ヲ守リ、義ニ死ス、丞相弘等カ如キ、
 之ヲ説ク、蒙ヲ發クカ如キノミト、黯
 嘗テ淮陽ノ守ニ拜セラル淮陽郡名即チ陳

爾林ナリ古ハ
 大臣ヲ御坐ニ
 見ルニ為ノ
 起ツ、爾ニ路ス
 ルハ、之ヲ輕ス
 ルナリ、一説ニ
 爾ハ、潤爾ナリ

州曰ク、臣病ス、郡事ニ任スル能ハス、
 願クハ郎中ト為リテ、禁闈ニ出入シ、
 過ヲ補ヒ、遺ヲ拾ハント、上ノ曰ク、君
 淮陽ヲ薄トスルヤ、吾レ今マ君ヲ召
 ス、顧フニ淮陽ノ吏民、相得ス、徒ニ君
 ノ重ヲ得テ、卧テ之ヲ治メント、淮陽
 ニ至ル、十歳ニノ竟ニ卒ス、黯、甚タ上
 ノ為ニ重セラレル、大將軍衛青、貴ト雖
 モ、上、或ハ爾ニ路メ、之ヲ見ル、黯カ如
 キハ、冠セサレハ見サルナリ、上、天下
 ノ材智ノ士、俊異ノ者ヲ選テ、之ヲ龍

持論ヲ根トシテ
正ヲ持スル能
ハス、樹木ノ根
抵ナキカ如シ
詭譎戲ナリ、諧
ハ合和ナリ、俳
優般做雜劇人
ナリ、侏儒容良
短人、伏日三伏
夏至ノ後、第三
ノ庚ヲ初伏ト
為ス、四庚ヲ中
伏ト為ス、立秋
ノ後、初庚ヲ末
伏為ス、伏ハ金
氣伏藏ノ日ナ
リ、舊制ニ、嘗テ
此ノ日ヲ以テ、
百官ニ肉ヲ賜

用ス、莊助、朱買臣、吾丘壽王、司馬相如、
東方朔、枚舉、終軍等、皆ナ臣、左右ニ、
リ、相如、特ニ詞賦ヲ以テ幸ヲ得タリ、
朝、鼻、持論ヲ根トセズ、詭諧ヲ好ム、上、
俳優ヲ以テ之ヲ畜ス、朔、嘗テ上ノ前
ノ侏儒ニ語ル、以為ラク、上、之ヲ殺サ
ント欲ス、侏儒泣テ命ヲ請フ、上、朔ニ
問フ、朔カ曰ク、侏儒ハ飽テ死セント
欲ス、臣朔ハ饑テ死セント欲スト、伏
日ニ肉ヲ賜フ、晏シ、朔先ツ肉ヲ斫テ、
持ノ帰ル、上、召シ、問テ、自ラ責シム、朔

細君妻ナリ、細
ハ、小ナリ、朔、自
ラ、諸侯ニ比シ、
其妻ヲ、謂テ、小
君ト曰フ

カ曰ク、賜ヲ受クルニ、詔ヲ待タス、何
ソ無礼ナルヤ、劍ヲ拔テ肉ヲ斫ル、何
ソ壯ナルヤ、之ヲ斫テ多カラサル、何
ソ廉ナルヤ、帰テ細君ニ遺ル、又何ソ
仁ナルヤト、然レモ朔モ亦時直諫ス、
補益スル所アリ、李少君ヨリ、以来神
仙ヲ求テ已マズ、文成誅セラレテ、五
利至ル、其時ニ帝、既ニ文成ヲ誅シ、後ニ
至ルニ及テ、方ノ盡サ、ルヲ惜ム、五利
見テ、大ニ悦ブ、之ヲ五利文成ヲ以テ、言
ヲ為ス、五利、黄金成ル可シク、而ソ河
ク可シ、不死、然レモ、臣、得ヘシ、仙人、致
キナリト、然レモ、臣、得ヘシ、仙人、致

〔挾書ノ禁始皇
書ヲ焚テヨリ
人ノ書ヲ挾ム
ヲ禁ス、惠帝ニ
至リ、始テ其ノ
令ヲ除ク

ハ、則テ方士皆口ヲ掩フ、思上曰久、文
成馮干ヲ食テ死スルノミト毒ヲ肝ハ
之ヲ食ヘハ忽チ人ナク殺スナリ、言ハ
文成、馬所ヲ食ヒ、毒ニ中テ死スル
ハ五利ノ誅スルニ非サルナリ、恐ク
肯セサレラ、故ニ懼テ、其ノ術ヲ盡シ
之ヲ隠スナリ、五利又誅セラレ、未
ニ及ヒ、公孫卿等、尤モ聽信セラレ、未
年ニ、帝乃チ悟テ曰ク、天下豈ニ仙人
アラシヤ、盡ク妖妄ナルノミ、食ヲ節
ニシ、藥ヲ服セハ、差病少ナカル可キ
ノミト、漢興テ、惠帝ヨリ已テニ、挾書
ノ禁ヲ除キ、文帝已テニ遊學ノ路ヲ

〔六經〕漢詩書易
禮樂春秋ヲ以
テ六經トナス
〔表章〕表異メ、之
ヲ章顯スルナ
リ
〔三代〕夏殷周

廣ハト雖モ、然レモ儒學終ニ盡ク盛
ナラス、帝ノ世ニ至テ、董仲舒、公孫弘、
皆チ春秋ヲ以テ進ム、兒寬モ、亦經術
ヲ以テ吏事ヲ飾ル、後チ又孔安國等
アリテ、出ツ、六經ヲ表章スル、實ニ帝
ヨリ始マル、數祥瑞ヲ獲タリ、白麟、珠
雁、從洛、寶鼎、皆チ樂章ト為メ、之ヲ郊
廟ニ薦ム、武帝嘗テ五時ヲ祠テ、白麟
ヲ獲タリ、甘泉ニ幸メ、東海ニ幸メ、赤雁
連葉、沙陰ニ幸メ、寶鼎ヲ得タリ、乃チ
白麟、朱雁、芝房、寶鼎ノ歌ヲ作リ、文章
郊廟ニ薦メ、以テ之ヲ絃歌ス、人、以
モ亦帝ノ世ニ至テ、始テ盛ナリ、人以

為ラク、三代ノ風アリ、帝、壽七十ニ
ノ崩ス、茂陵ニ葬ムル〔茂陵〕安西府ノ
リア太子立ツ、是ヲ孝昭皇帝トス

沖冠嶺著十八史畧譯解卷ノ三終

